地域防災力向上の取組推進

治水事業 1-3-1

地域重点プロジェクト

○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

地域防災力向上の取組推進

・迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化
・ハザードマップ作成・普及支援や講習会実施等地方公共団体の防災力向上推進
・防災教材の作成・普及や防災訓練実施等地域との協働による防災対策の取組
・十勝岳の観測監視体制の充実
・防災関係機関が連携した災害対策を支援するための防災情報共有化推進

事業箇所　　石狩川上流域、天塩川上流域
主要項目　　防災学習教室・施設見学会の開催 等
令和7年度迄の主要な成果：総合防災訓練、各種研修会　等

◆ 石狩川水系忠別川において、洪水氾濫を想定した総合水防演習を国、道、市町村、警察、消防、陸上自衛隊等、関係機関が一体となって実施（旭川市、令和7年5月31日）


訓練全景


水防団による水防工法（月の輪工）


自衛隊による水防工法（釜段工）


降雨体験装置


水防団による水防工法（積土のう工）


消防による転落車両救助訓練


緊急復旧訓練（根固めブロック投入工）


地下浸水体験装置

令和8年度は上記の取り組みを継続して実施し、「住民の防災意識の向上」「子供たちへの啓発」「組織間の連携強化」等による地域防災力向上を目的として、水防研修会、水防学習会を開催し、関係機関、住民への防災情報の提供や防災体制や連絡体制の強化など、地域とのよりいっそうの連携・協働を進めていく

石狩川上流における各種研修会等の開催

【①**石狩川上流防災啓発**（令和7年5月1日）】
■大学生を対象とした出前講座
【②**石狩川上流防災啓発**（令和7年9月28日）】
■地域防災力向上を目的とした出前講座


①出前講座


②防災講座

天塩川上流における各種研修会等の開催

【①**天塩川上流防災啓発**（令和7年6月21日）】
■小学生を対象とした防災講座
【②**天塩川上流水防学習会**（令和7年7月9日）】
■防災に関わる知識や対応力の向上を図る学習会


①防災講座


②水防学習会

名寄川地区かわまちづくり

治水事業 1-3-2

地域重点プロジェクト

○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト

事業箇所　名寄市、下川町
主要項目　管理用道路L=4,000m、横断施設N= 3 箇所
令和7年度迄の主要な成果：管理用道路、横断施設の整備　等

平成29年3月7日にかわまちづくり支援制度に登録された「名寄川地区かわまちづくり計画」を踏まえ、河川空間をサイクリングロードとして活用するため、名寄市、下川町との連携による整備を実施

サイクリングロード図





◆今後の整備内容
・管理用通路整備
・誘導ラインの設置

WG開催状況

必要な整備内容、地域との連携・ＰＲ方法に関する検討など、地域の観光関係者、サイクリスト、観光や宿泊施設の経営者など7名のメンバーで議論





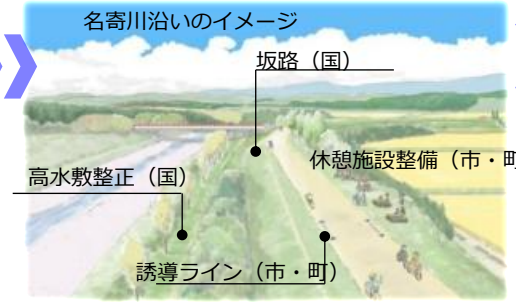
整備内容

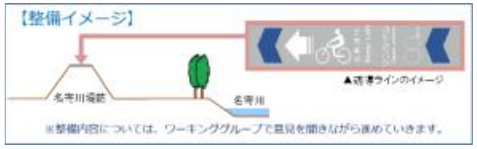
平成30年度



令和９年度完了予定







誘導ライン



整備状況

周遊性向上に向けた議論

より効果的な整備を行うため、名寄市、下川町職員や観光まちづくり協会、地元サイクリングクラブ等と連携し、サイクリングコースの試走を行ってい





魚類等の生息環境保全に関する取組

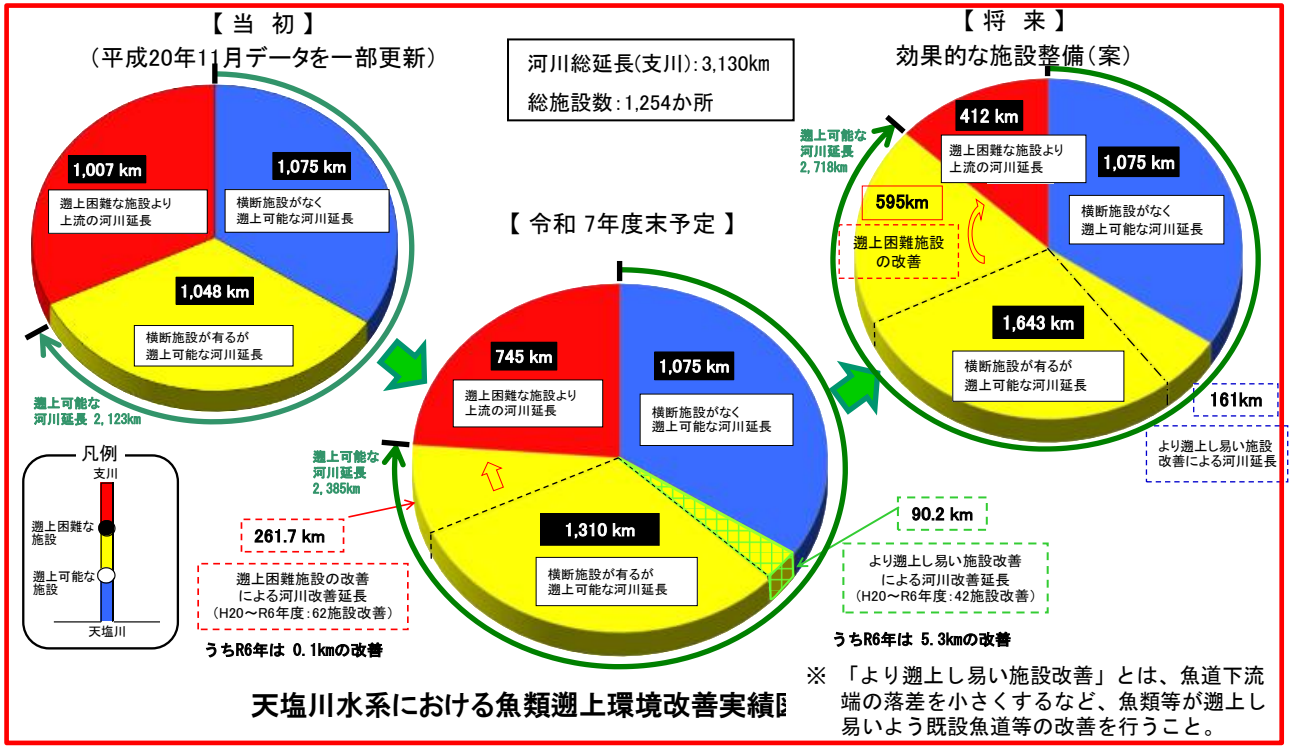
治水事業 1-3-3

地域重点プロジェクト

○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト

天塩川流域の魚類の連続性確保のため、流域の国・道の関係機関、学識者等と連携のうえ、遡上困難施設への魚道整備・改善等を進めています。

事業箇所　天塩川流域
主要項目　魚類の連続性確保に向けた現地調査・検討
令和7年度迄の主要な成果：遡上困難施設（６２施設）を改善し遡上可能となった河川延長２６１.7km



天塩川水系における魚類遡上環境改善実績図

※「より遡上し易い施設改善」とは、魚道下流端の落差を小さくするなど、魚類等が遡上し易いよう既設魚道等の改善を行うこと。

◆関係機関

令和7年度時点 ～１２組織	◆北海道開発局　旭川開発建設部（河川・農水） 留萌開発建設部（河川・農水） ◆北海道森林管理局　上川北部森林管理署 留萌北部森林管理署 宗谷森林管理署 ◆北海道 上川総合振興局　北部森林室、産業振興部、旭川建設管理部 留萌振興局　産業振興部　留萌建設管理部 宗谷総合振興局　産業振興部　稚内建設管理部



魚類等の移動の連続性確保に向けた関係機関連携会議開催状況（令和8年2月5日）

魚道施設整備の状況



·アラキの川 No3床固工魚道新設（H29.9）　上川総合振興局北部森林室

天塩川流域～森と海に優しい川づくりワークショップ（美深町）

（技術力向上を目的とする講義、意見交換）R7.10.7



専門家会議による魚道ワーキング

（専門家による現地技術協議）





魚類等の移動の連続性確保及び生息環境の保全・創出に向けた調査・検討の推進

治水事業 1-3-4

地域重点プロジェクト

○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト

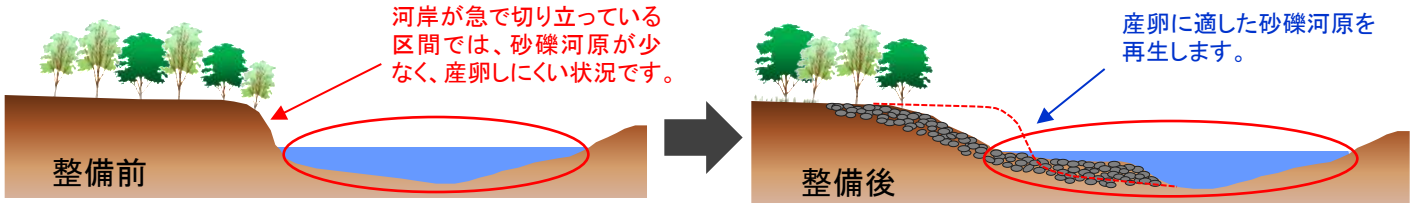
事業箇所　天塩川中上流域
主要項目　魚道整備N=4箇所 河道整正A=33千m2
令和7年度迄の実施状況　魚道整備　河道整正　等

天塩川水系ではこれまでの河道掘削や堤防整備などの治水事業により流域の治水安全度の向上や農業の発展などに寄与してきました。
一方で、治水・利水事業等を経て河道が変遷していく過程において、魚類の産卵床になり得る砂礫河原が減少。また、支川及び支川合流部の横断工作物によって魚類の移動が阻害されている箇所もあるため、遡上先の砂礫河原の創出、支川合流部等の落差解消による河川縦断方向の連続性の回復等により、天塩川水系において魚類が持続的に再生可能な河川環境の回復を図ります。

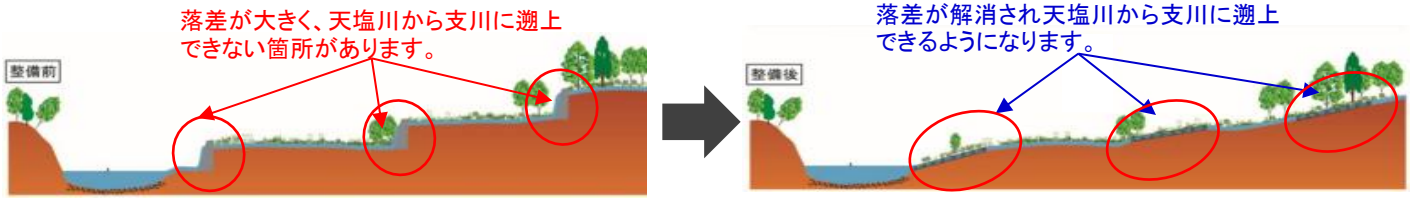
天塩川中上流地区自然再生事業 整備内容



①　河道掘削による魚類生息環境改善のための砂礫河原の創出



②　支川合流部等の魚道整備による落差解消



【整備イメージ】
久尾内川
落差魚道新設（R2）
開発局
名寄河川事務所





治水安全度向上のための河川改修（天塩川上流）

治水事業 1-3-5

地域重点プロジェクト

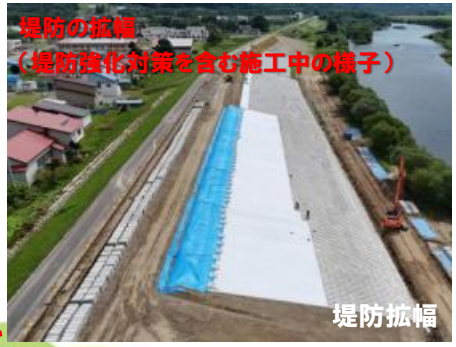
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト

事業箇所　天塩川上流域
主要項目　河道掘削・樹木伐採、堤防整備　等
令和7年度迄の主要な成果：河道掘削、樹門改築　等

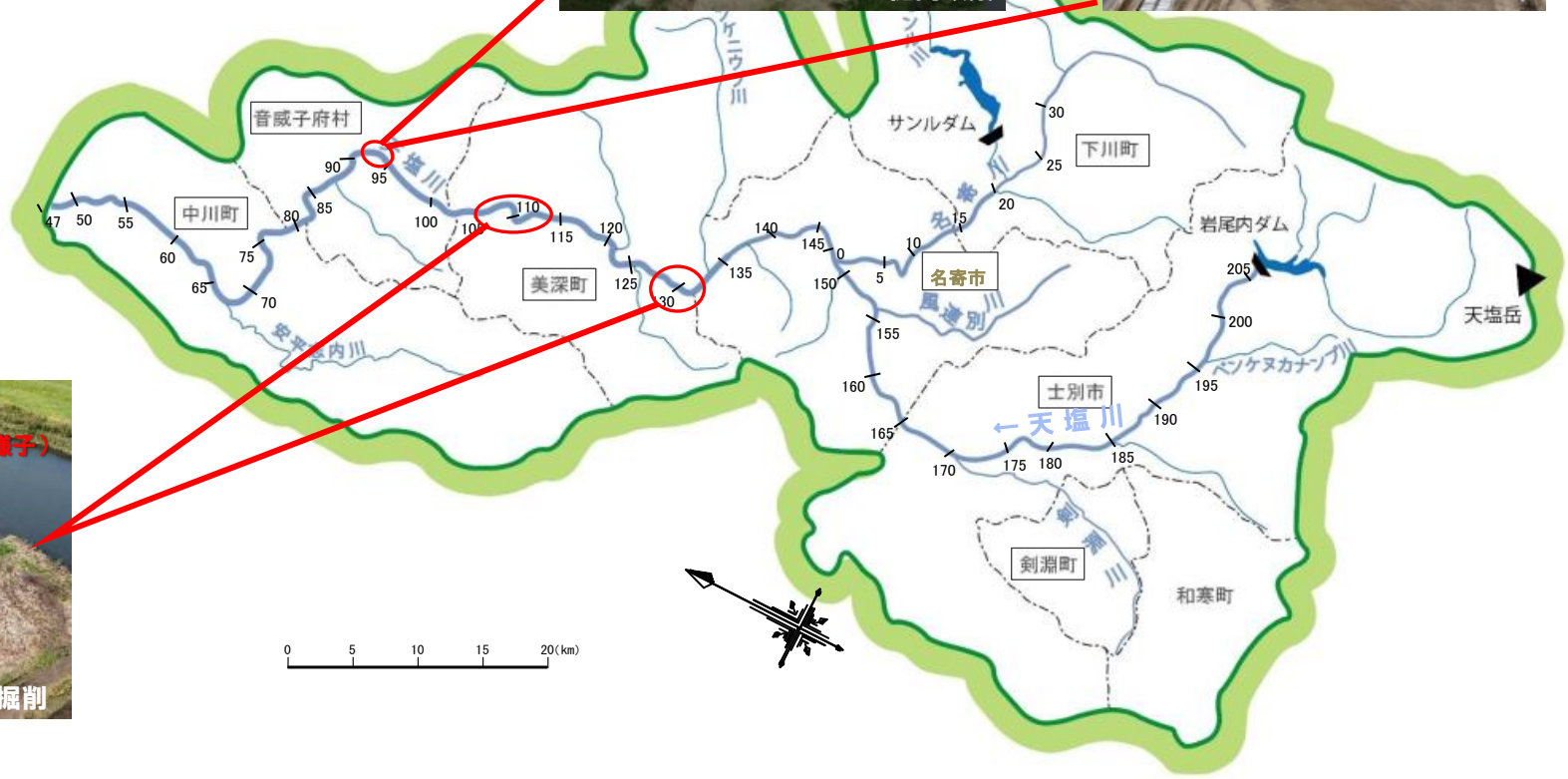
長大河川天塩川の氾濫域の中で治水安全度が低く市街地を有する地区について優先的に河道掘削、堤防強化等を実施。気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に備え、「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」を計画的に実施します。











旭川駅周辺かわまちづくり

治水事業 1-3-6

地域重点プロジェクト

○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト

事業箇所　旭川市
主要項目　親水広場　３箇所、側帯工　１箇所、
　　取付道路工　１箇所
令和7年度迄の主要な成果：親水広場 、側帯工、取付道路等

旭川市では「第8次旭川市総合計画」に基づく、食と農等の様々な地域の資源や特性を活かし、地場産業の振興やブランド力の向上等、地域経済の活性化を図っており、市民がスポーツに取り組み、競技力の向上や健康増進・心身のリフレッシュを図ることができるようスポーツに親しめる環境づくりを進めています。
旭川市と旭川開発建設部が連携し、地域観光のゲートウェイであるJR旭川駅南側地区と忠別川・牛朱別川が一体となった水辺整備を行い、観光・まちづくりによる賑わいの創出により、旭川市街地の地域活性化を図ります。

整備イメージ図









■忠別川における整備箇所







■牛朱別川における整備箇所

治水安全度向上のための河川改修（石狩川上流）

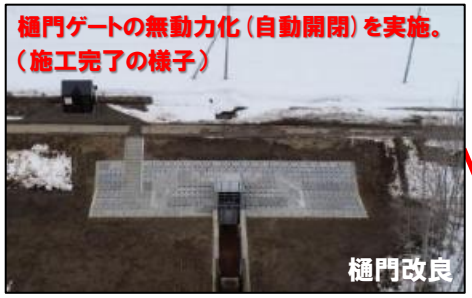
治水事業 1-3-7

地域重点プロジェクト

○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト

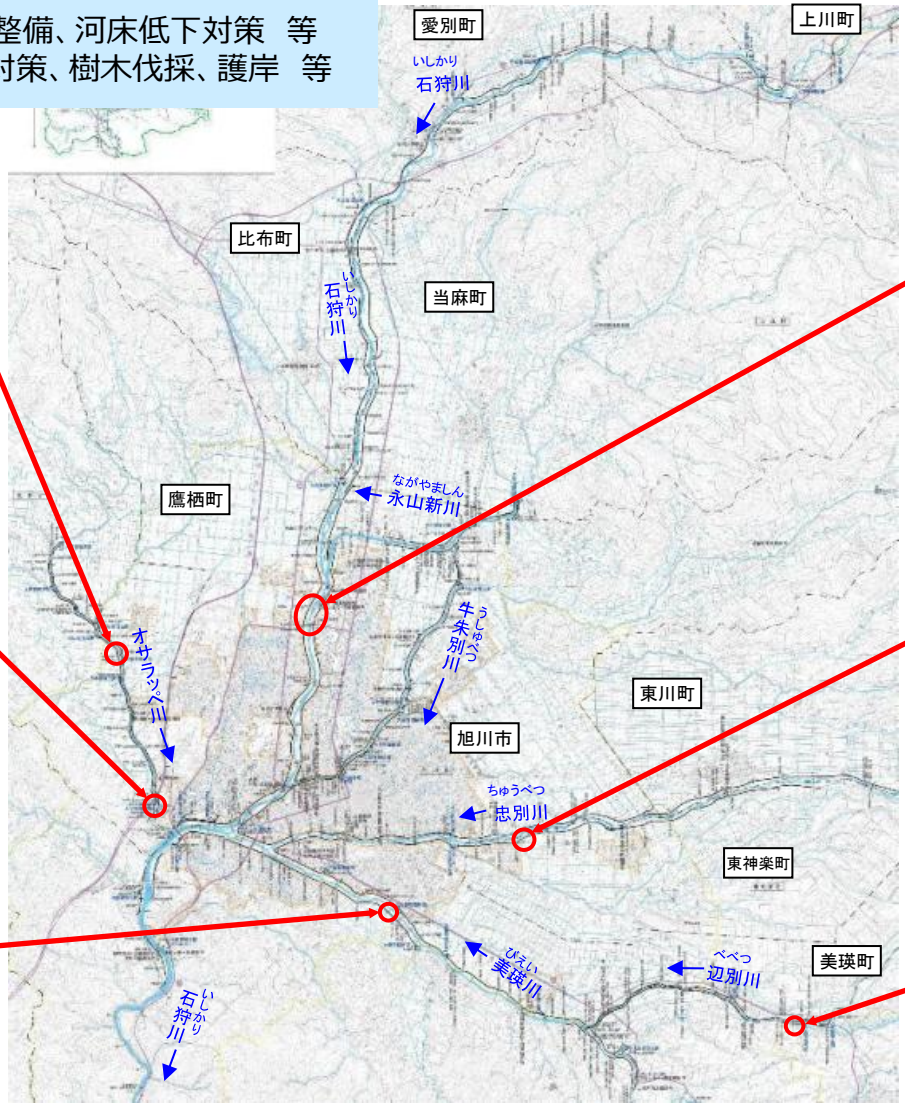
事業箇所　石狩川上流域
主要項目　河道掘削・樹木伐採、堤防整備、河床低下対策　等
令和7年度迄の主要な成果：河床低下対策、樹木伐採、護岸　等

人口・資産が集中し近年被害が発生している旭川市街部周辺において、氾濫被害の軽減効果・整備優先度等を踏まえ、河道掘削、堤防整備、河床低下対策、河岸侵食対策等を実施。気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に備え、「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」を計画的に実施します。















石狩川上流　砂防事業

治水事業 1-3-8

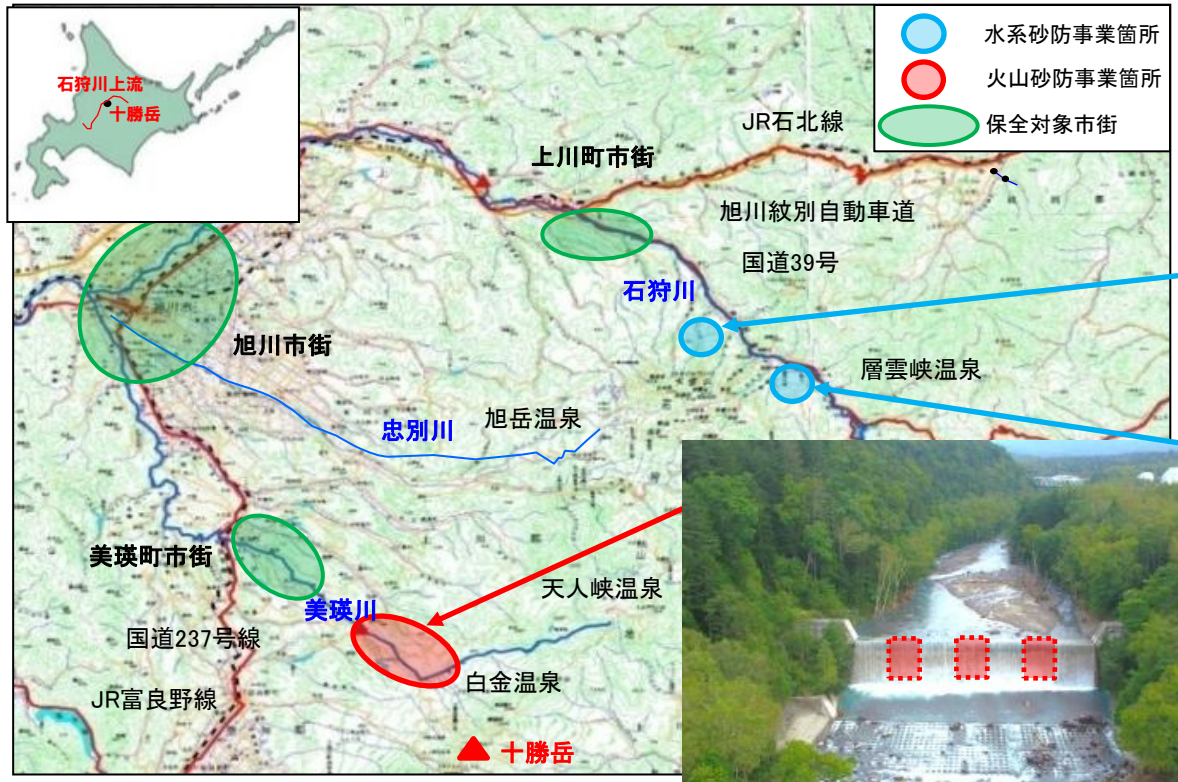
地域重点プロジェクト

○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　上川町、美瑛町
主要項目　層雲峡小学校の沢遊砂地工、白川砂防堰堤、
美瑛川床固工群、美瑛川第２号堰堤改築、
尻無沢川第３号堰堤改築
令和７年度迄の主要な成果：堰堤、床固工、遊砂地の整備　等

【水系砂防】上流域の砂防設備によって流出土砂をコントロールし、下流域の河床変動を極端に変化しないようにするために実施
◆石狩川上流では、層雲峡温泉地区唯一の避難所や温泉街を保全する他、上川町市街に集積する要配慮者利用施設等を保全するため砂防設備の整備を進める。

【火山砂防】最も危険性が高いと見られる十勝岳の噴火による火山泥流への対策として実施
◆十勝岳（美瑛川）では、144名の死者を出した大正15年噴火相当の融雪型火山泥流に対して美瑛町市街地、白金温泉地区を保全するため、火山泥流対策を重点的に実施する。







南富良野町かわまちづくり・幾寅地区MIZBEステーション（札幌開発建設部）

治水事業 1-3-9

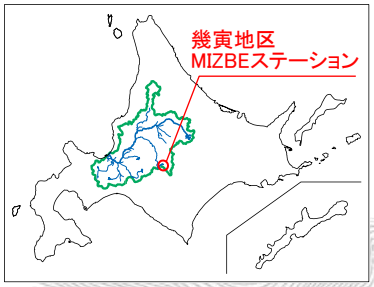
地域重点プロジェクト

○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　南富良野町
主要項目　水辺整備（親水護岸、ワンド、アクセス通路、高水敷整正 等）、堤防整備、盛土造成・水防センター 等
令和７年度迄の主要な成果：拠点整備（盛土造成）
水辺整備（高水敷整正）

石狩川の支川である空知川では、平成28年8月の洪水により南富良野町幾寅地区で空知川の堤防が決壊し、農地が冠水するほか、市街地が浸水する被害が発生しました。

この洪水被害を解消するため、堤防の整備や河道掘削を行うとともに、災害時の水防活動や災害復旧の拠点として河川防災ステーションの整備を河川整備計画に位置付け推進しています。近年では平時に施設の上面を市町村等の取組により、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションをMIZBEステーションとして登録しており、幾寅地区では北海道内では初めて登録された施設となり北海道開発局と南富良野町が連携し施設の整備を推進するとともに、地域の活性化につながる賑わいのある河川空間の創出を目指し「南富良野町かわまちづくり」の取組も推進します。



**森と湖のポテンシャルを活かして
アウトドア観光の拠点に**




空知川幾寅地区の堤防決壊氾濫状況


南富良野町市街地の浸水状況（H28年8月洪水）













雨竜川ダム再生事業（札幌開発建設部）

治水事業 1-3-10

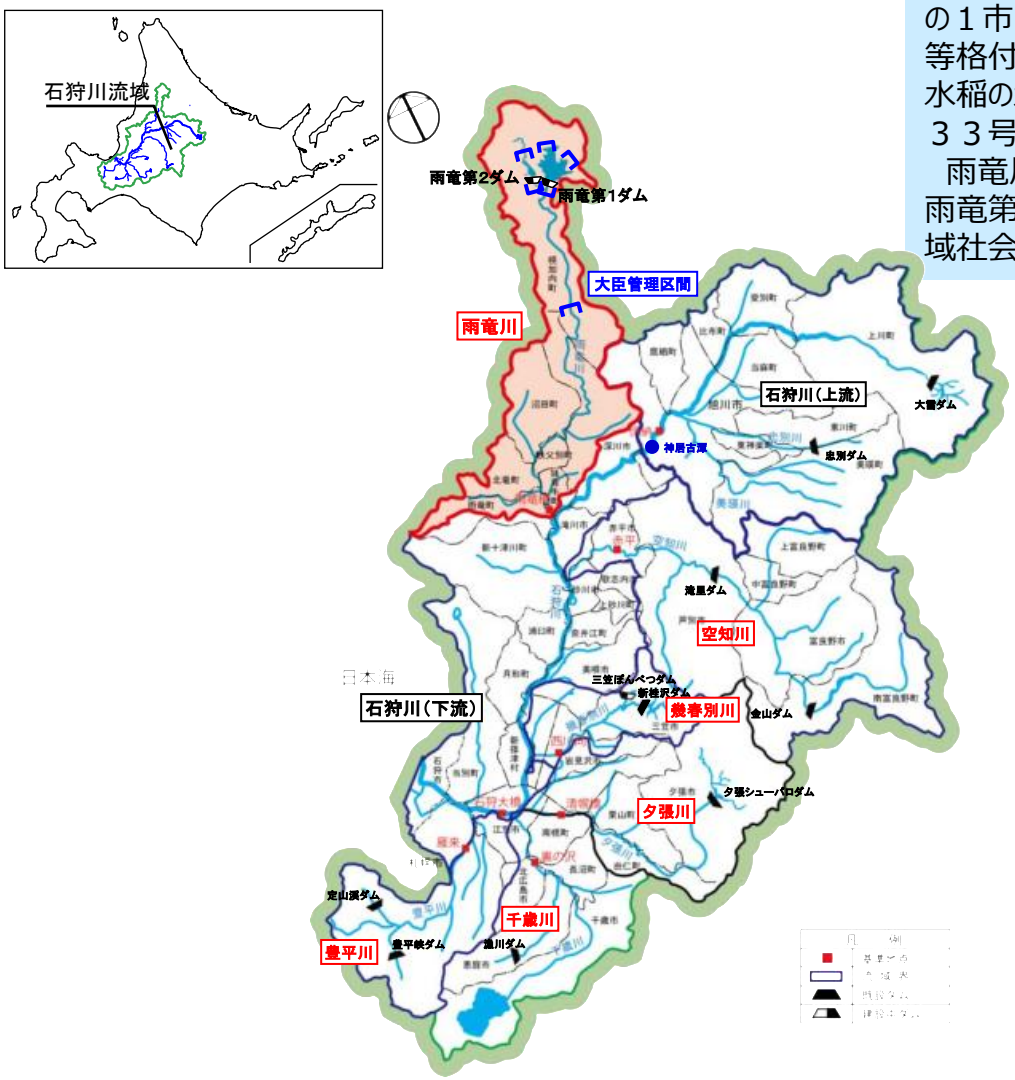
地域重点プロジェクト

○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト

事業箇所　幌加内町
主要項目　既存ダム利水容量を洪水調節容量に振替、雨竜第２ダムの嵩上げ
令和７年度迄の主要な成果：雨竜第２ダムの本体工事着手、管理用道路の整備

雨竜川流域は深川市、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、幌加内町の１市６町で構成され、上流域ではそばの栽培が盛んであり、その品質は高く、全国の１等格付けそばの９割以上の産地が雨竜川流域となっています。また、下流域の平地では水稲の栽培が盛んであり、農業が流域全体の基幹産業となっています。さらには、国道２３３号、国道２７５号などの基幹交通施設が位置するなど、交通の要衝となっています。

雨竜川ダム再生事業は、昭和１８年に完成した発電専用ダムである雨竜第１ダムと雨竜第２ダムを有効活用し、新たに洪水調節機能を確保するものです。洪水災害から地域社会を守るため雨竜川ダム再生事業を推進します。




雨竜第1ダム


雨竜第2ダム


かさ上げイメージ（雨竜第2ダム）

北海道縦貫自動車道　士別剣淵～名寄　(1/3)

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト
○北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト

北海道縦貫自動車道士別剣淵～名寄間は、高速ネットワーク拡充による道北圏と道央圏の連絡機能強化を図り、道北地域から高次医療施設のある名寄市や旭川市への広域搬送を支援し、医療格差の解消に貢献します。

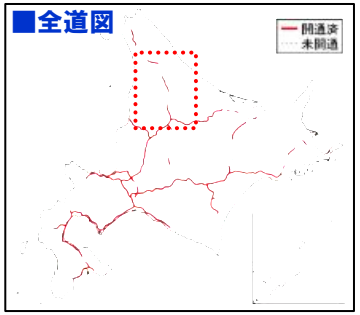
定時性及び速達性の高い輸送ルートが確保され、農水産品の流通利便性向上や、道北地域における周遊観光の支援による地域産業の活性化が期待されます。

事業箇所　　士別市、名寄市
主要項目　　事業延長L=24.0km　改良、舗装、中士別大橋ほか
令和７年度迄進捗率　約83%

■位置図



■全道図



■事業概要図

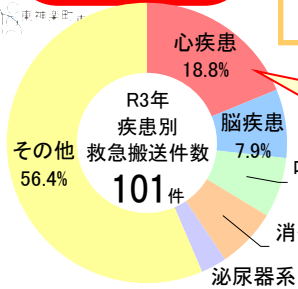


■当該道路を利用する旭川・札幌方面への救急搬送状況（R3年）

出典：稚内地区消防事務組合、南宗谷消防組合、上川北部消防事務組合、北留萌消防組合の各消防本部ヒアリング
※図中の地区分類は消防署の管轄に準ずる。



■旭川・札幌方面への疾患別救急搬送割合（R3年）

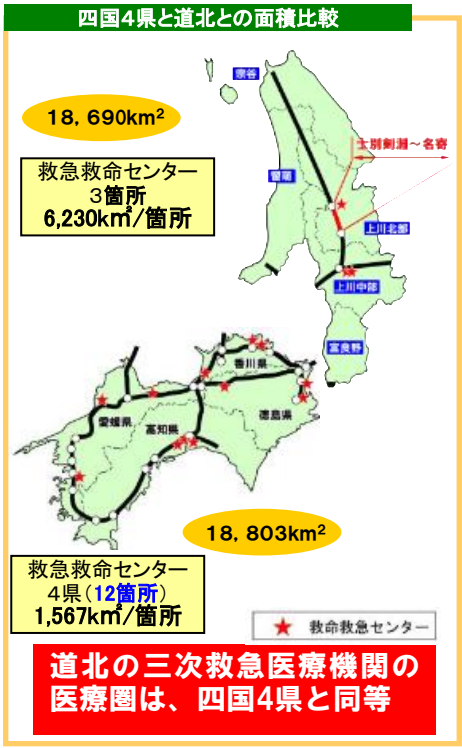


心疾患の搬送が約2割

出典：R5全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）、日本救急医学会資料（R5.1）

出典：稚内地区消防事務組合、南宗谷消防組合、上川北部消防事務組合、北留萌消防組合の各消防本部ヒアリング

四国4県と道北との面積比較



北海道縦貫自動車道　士別剣淵～名寄　(2/3)

■農水産品の流通利便性向上

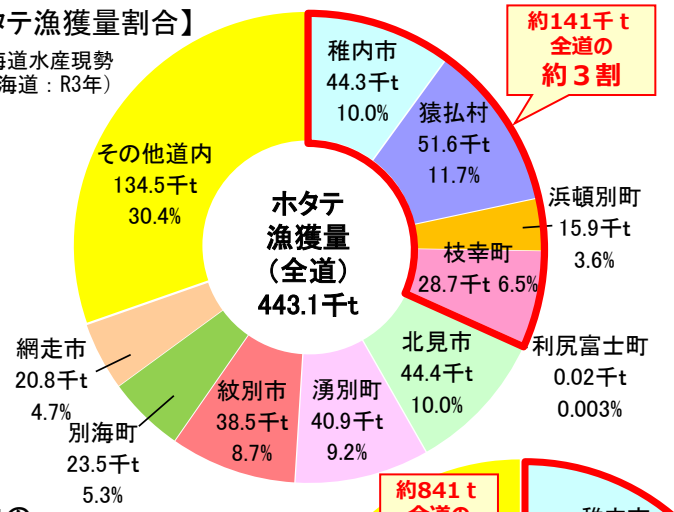
【宗谷管内からの水産品の輸送状況】



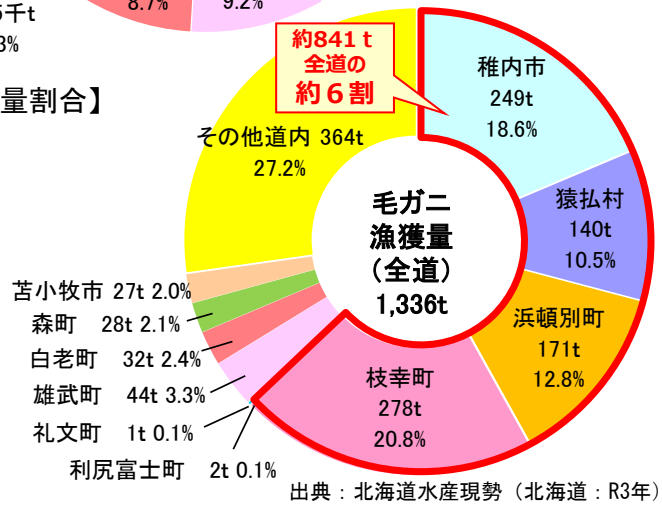
出典：水産品輸送会社ヒアリング

【宗谷管内のホタテ漁獲量割合】

出典：北海道水産現勢（北海道：R3年）



【宗谷管内の
毛ガニ漁獲量割合】



出典：北海道水産現勢（北海道：R3年）

■地域の声　（R5.5　水産品輸送会社職員）

- 宗谷管内から旭川や札幌の卸売市場までは長距離輸送であり、途中市街地などでは信号交差点が多く輸送に大変時間がかかります。
- 市場への遅延が生じて当日の取引に間に合わず、翌日の取引となった場合、生鮮ホタテ等の魚介類の取引価格の低下や荷物の保管料が発生します。その場合、損失分の費用を輸送会社が負担します。
- 当該道路の利用により、輸送所要時間が短縮され、輸送の定時性及び確実性が向上し、これらの損失が減少することが期待されます。また、信号交差点がなく一般道よりも安全性が高いためドライバーの負担も軽減されることから、早期の整備に期待しています。

北海道縦貫自動車道　士別剣淵～名寄　(3/3)

道路事業 1-3-13

■道北周遊観光ニーズへの支援

【沿線の主な観光地、観光ツアー事例】



【利尻礼文サロベツ国立公園】
利尻島・礼文島入込客数：約13万人(R3年度)

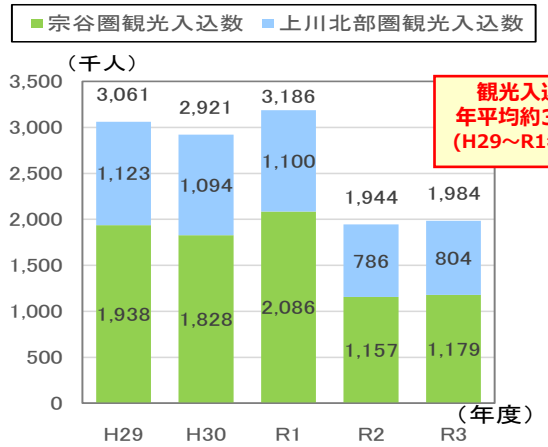
出典：北海道観光入込客数調査報告書
写真：旭川開発建設部

上川北部圏※
観光入込客数
111万人
(H29-R1年度平均)

※上川北部圏：名寄市、下川町、美深町、音威子府村、中川町の全域

出典：北海道観光入込客数調査報告書、観光エージェントヒアリング

【宗谷圏・上川北部圏
観光入込客数】



※R2-R3は新型コロナに伴う移動制限による減少

出典：北海道観光入込客数調査報告書

所要時間(旭川空港～名寄市間)

【現状】
時間(夏期)：102分
(冬期)：113分

旭川空港へのアクセス性が向上

【士別剣淵～名寄整備後】
時間(夏期)： 89分(13分短縮)
(冬期)： 99分(14分短縮)

※士別剣淵IC ～名寄IC間の旅行速度は、
70.0km/h（夏期） 64.4km/h（冬期）で算出。
出典：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

■地域の声　（R5.5　観光協会職員）
・旭川市等から名寄市への高速交通網の整備による移動時間の短縮は、観光客の行動特性に大きな影響を与え、地域への観光客増につながります。地域の観光振興に大きく寄与することから当該道路の早期整備に期待します。

■地域の声　（R5.6　観光エージェント職員）
・これまで時間距離の関係で、滞在時間や立ち寄り箇所等の制約が大きかった名寄以北地域への観光バスツアーにおいて、当該道路の整備により移動時間が短縮されることで、観光地間の周遊性が向上し、より魅力的な観光ツアーの造成が期待できることから、早期整備に期待します。

一般国道40号　中川天塩道路(1/3)

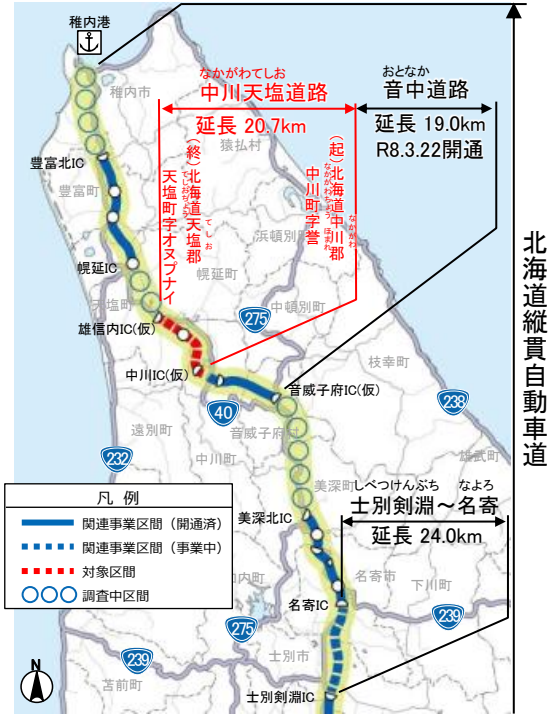
地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト
○北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト

事業箇所　中川町、天塩町
主要項目　事業延長L=20.7km
　　改良、舗装、橋梁ほか
令和8年度　新規着工

中川天塩道路は、高規格道路の拡充による道北圏と道央圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び物流の効率化等の支援をします。
物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、道北地域における農水産業等の産業振興や救急搬送などの医療活動の支援が期待できます。
並行する国道には地吹雪発生箇所や洪水浸水区域が存在しているため、当該区間の整備により、災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークの形成が期待できます。

■位置図

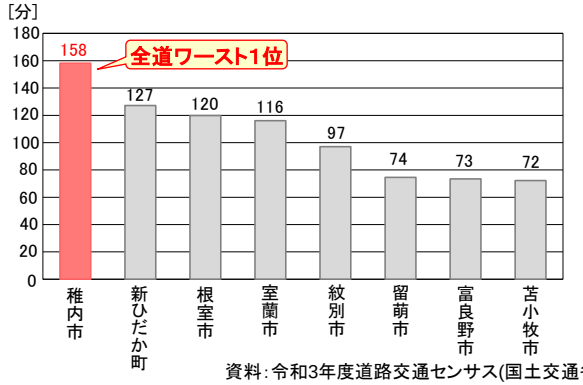




資料：対象地域の消防組合ヒアリング

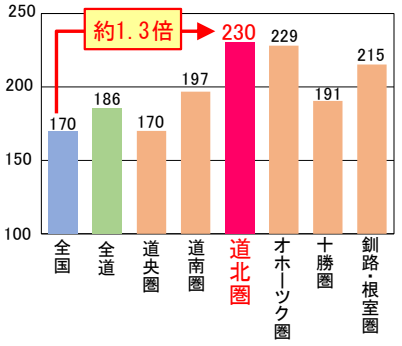
■高次医療施設への速達性向上による医療サービスレベルの向上を支援

【全道の三次救急医療機関までの搬送時間】



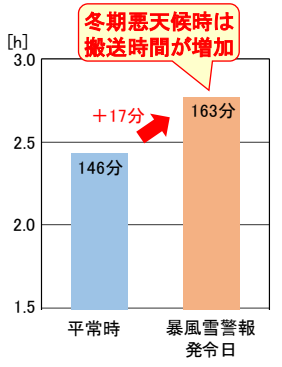
資料：令和3年度道路交通センサス(国土交通省)より算出

【心疾患死亡率】



資料：H26～R5北海道保健統計年報（北海道）

【冬期悪天候時の救急搬送時間（稚内市→名寄市）】



資料：稚内地区消防組合ヒアリング

一般国道40号　中川天塩道路(2/3)

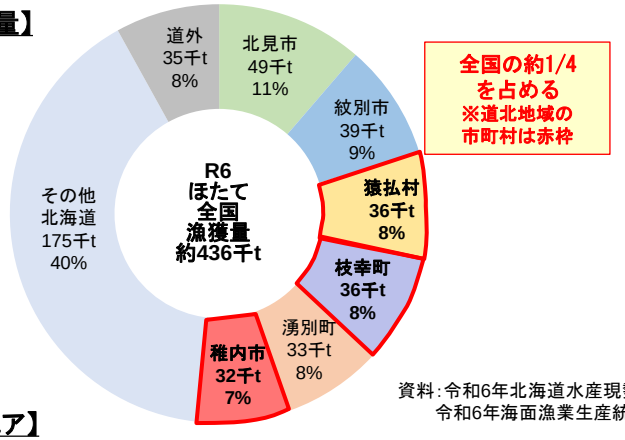
■速達性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援

【農水産品の輸送ルート】



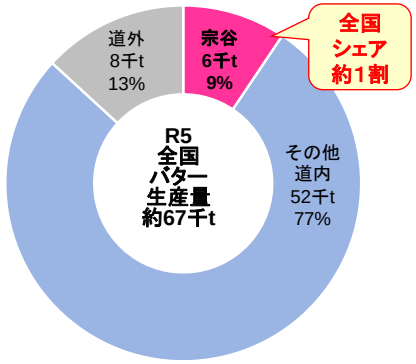
資料：水産加工業者、乳製品工場、物流業者等ヒアリング

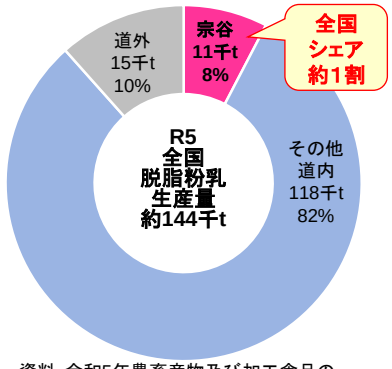
【全国ほたて漁獲量】



資料：令和6年北海道水産現勢（北海道）
令和6年海面漁業生産統計（農林水産省）

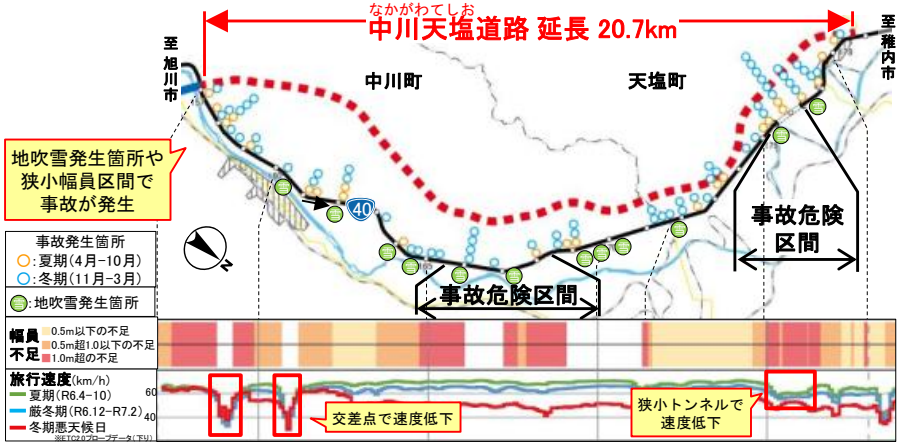
【宗谷地域で製造される乳製品のシェア】





資料：令和5年農畜産物及び加工食品の
移出実態調査結果報告書（北海道開発局）
令和5年度牛乳乳製品生産統計調査　（農林水産省）

【物流ルートの現道課題】



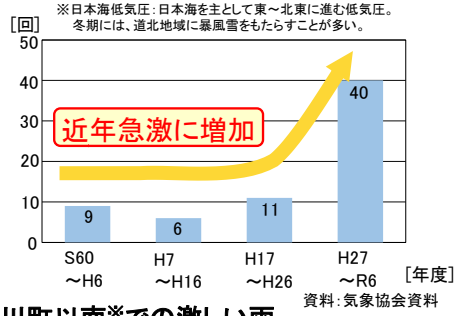
一般国道40号　中川天塩道路(3/3)

■災害リスクの回避により災害発生時の道路機能を確保

【地吹雪による国道の通行止め・天塩川氾濫による国道の寸断】

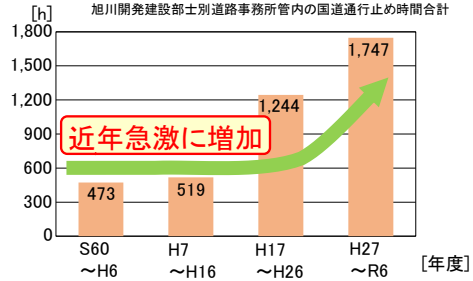


【冬期の日本海低気圧※通過の推移】



資料：気象協会資料

【冬期悪天候時の国道通行止め時間の推移】

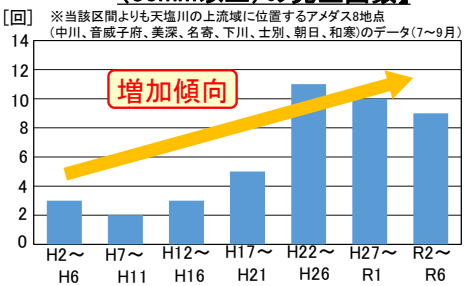


資料：通行止めマスターデータ



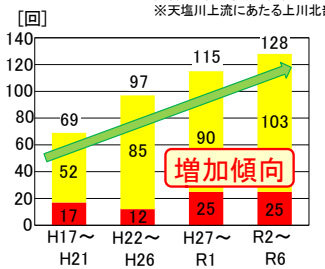
【冬期の走行環境（写真1）】

【中川町以南※での激しい雨
（30mm以上）の発生回数】



資料：気象庁

【上川北部地域の洪水警報・注意報発令日数】





【道路周辺水没（写真2）】

一般国道40号　音威子府バイパス（音中道路）(1/3)

道路事業 1-3-17

地域重点プロジェクト

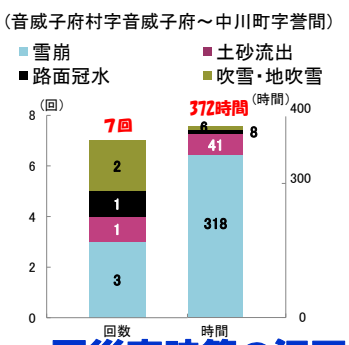
○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト
○北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト

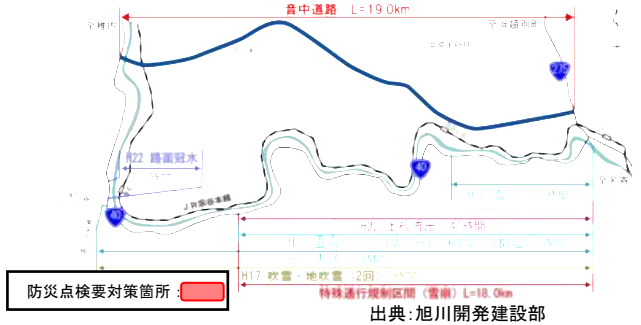
事業箇所　音威子府村、中川町
主要項目　事業延長L=19.0km
　　改良、舗装、音中トンネルほか
令和7年度迄進捗率　約99%

音威子府バイパスは、雪崩による特殊通行規制区間の解消および現道の交通事故低減により、現道の安全性、定時性が確保されます。
地方センター病院である名寄市立病院までのアクセス時間が向上し、道北圏の救急医療体制が充実するとともに、地域住民の通院の利便性向上が期待されます。
中川町から名寄市への所要時間が短縮され、定住自立圏中心都市への利便性向上が期待されます。

■特殊通行規制区間の規制状況

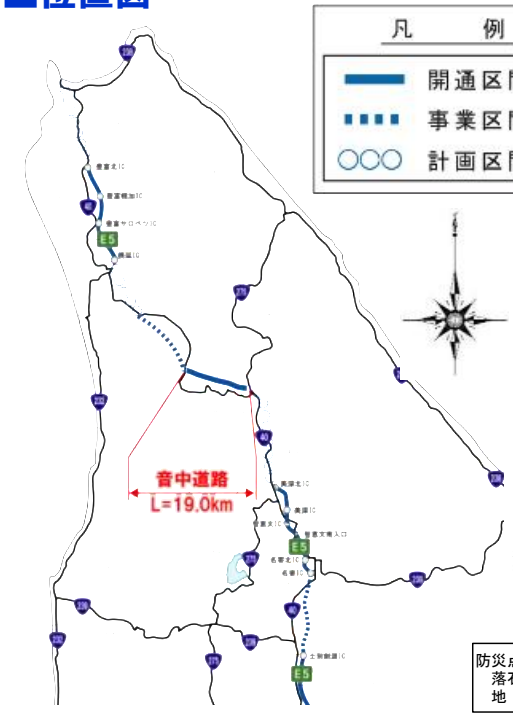
【現道の通行規制の内訳(H5～R2年度)】



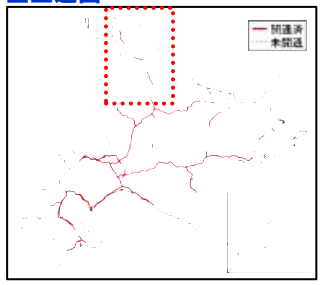


出典:旭川開発建設部

■位置図



■全道図



■事業概要図



■災害時等の迂回路の現状と整備後(中川町～名寄市)



視程障害発生の状況

【中川町～名寄市間の所要時間と時間短縮】

	所要時間	短縮時間
現状	81分	－
迂回路①	127分	＋ 46分
迂回路②	233分	＋152分

※H27全国・道路街路交通情勢調査

【雪崩による通行止めの状況】
R40号音威子府村：H11年4月　通行止　21日間



【豪雨災害時の状況】
R40号音威子府村：H22年8月　通行止　41時間

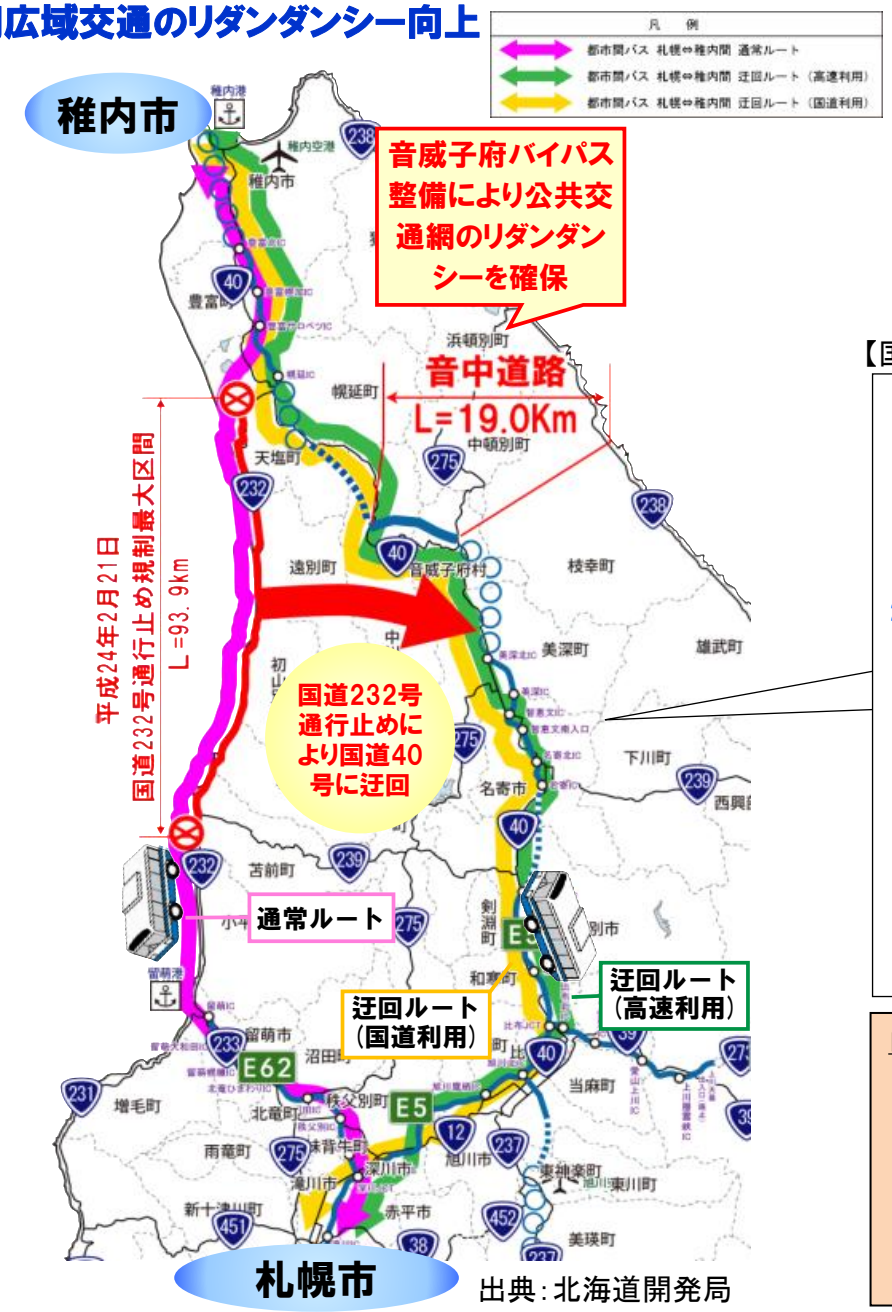


資料・写真：旭川開発建設部

一般国道40号　音威子府バイパス（音中道路）(2/3)

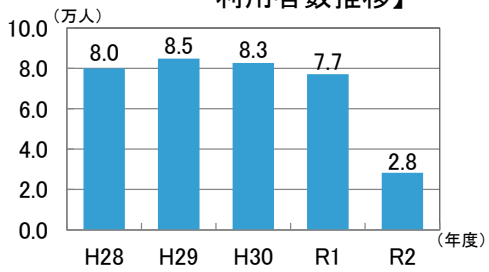
道路事業 1-3-18

■冬期広域交通のリダンダンシー向上

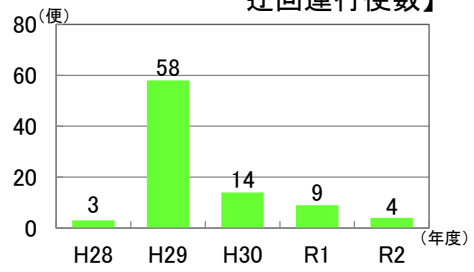


出典：北海道開発局

【札幌～稚内間都市間バス利用者数推移】

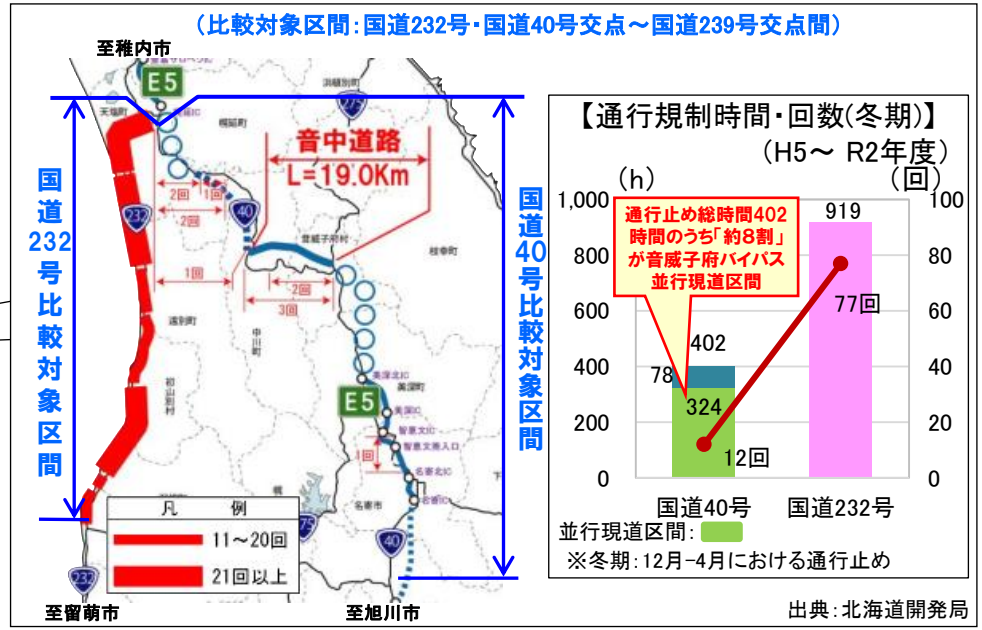


【札幌～稚内間都市間バス冬期の迂回運行便数】



出典：バス事業者ヒアリング
※冬期:12月～3月における迂回運行便数

【国道40号、国道232号、冬期通行止め実績（H5～R2年度）】



出典：北海道開発局

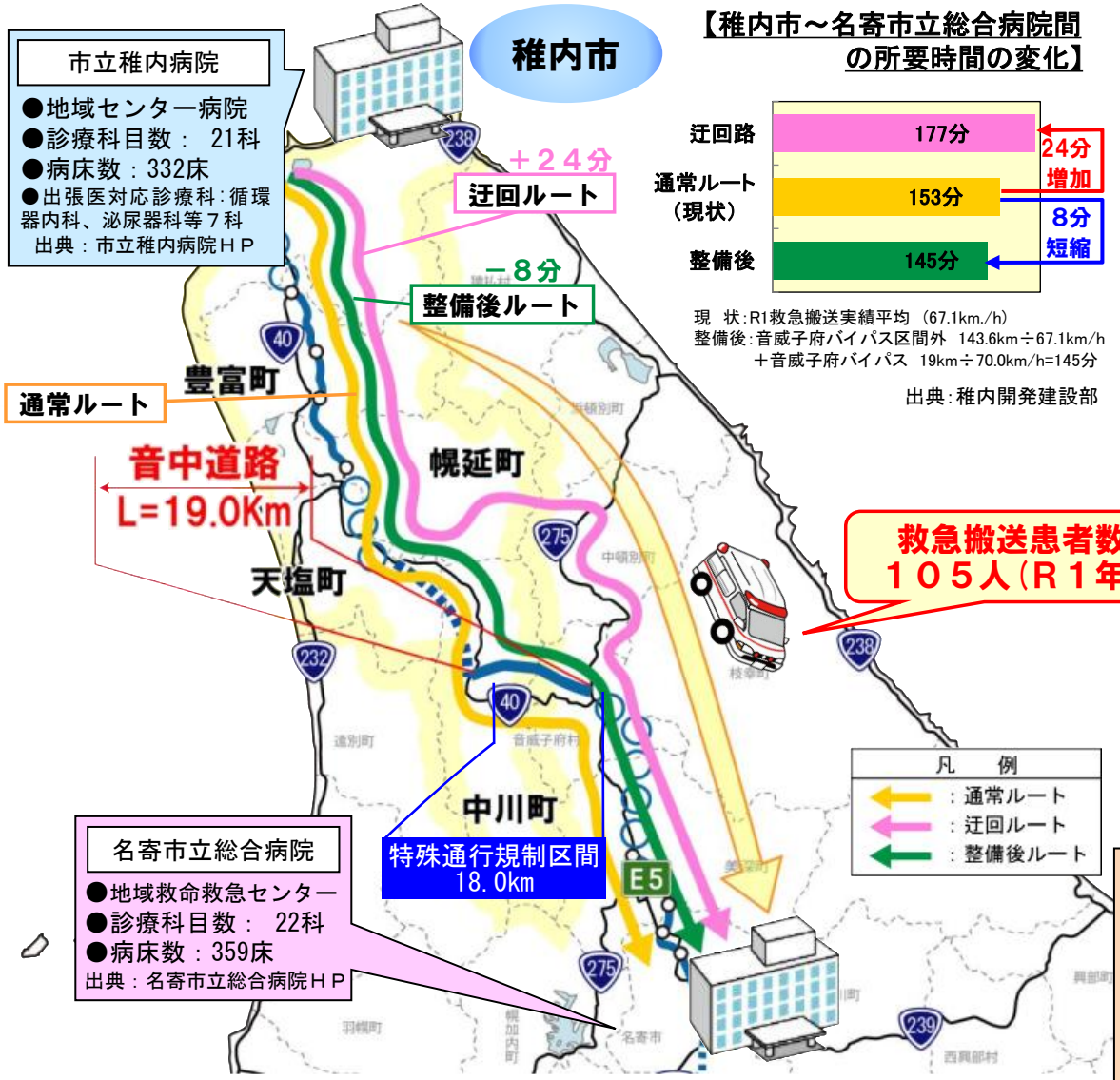
■地域の声（R3.7　バス会社職員）

- 稚内市～札幌市間の都市間バスは年間8万人程度の利用客がいます。運休すると多くの乗客に迷惑がかかるので、国道232号の通行止めの際には、国道40号に迂回して運行しています。
- また、通行止め時以外にも、悪天候で危険と判断される場合でも、安全運行確保の観点から、国道40号に迂回することもあります。
- 当該道路の整備により、利用客利便の確保を図り、安全で確実な迂回ができるよう、早期整備に期待しています。

一般国道40号　音威子府バイパス（音中道路）(3/3)

■救急搬送の安定性向上

【国道40号沿線地域からの救急搬送の状況】



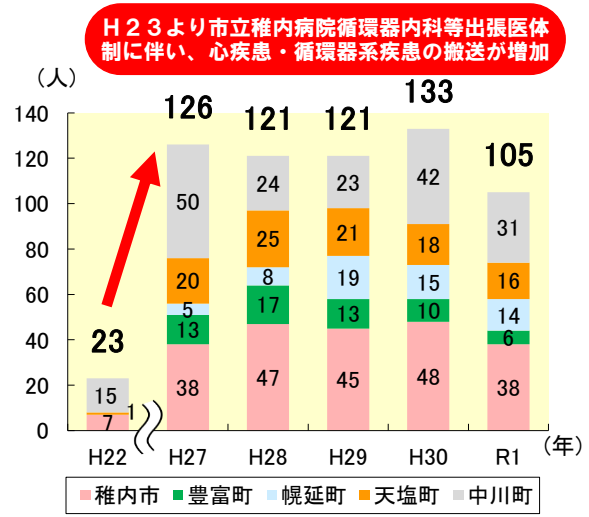
出典：稚内地区消防事務組合、上川北部消防事務組合、北留萌消防組合の各消防本部

【稚内市～名寄市立総合病院間の所要時間の変化】

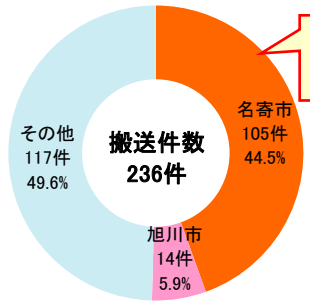
現　状：R1救急搬送実績平均　(67.1km./h)
整備後：音威子府バイパス区間外　143.6km÷67.1km/h
＋音威子府バイパス　19km÷70.0km/h=145分

出典：稚内開発建設部

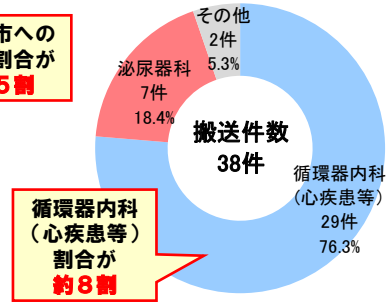
【国道40号沿線地域から名寄市立総合病院への救急搬送患者数推移】



【国道40号沿線地域の救急搬送先内訳（R1年）】



【稚内市から名寄市への疾患種別救急搬送内訳（R1年）】



出典：稚内地区消防事務組合、上川北部消防事務組合、北留萌消防組合の各消防本部

■地域の声（R3.8 消防署職員）

・稚内市から名寄市立総合病院へは心疾患・循環器系疾患の救急搬送が多くなっています。音威子府バイパスの並行現道区間は、長距離の救急搬送において最も神経を使う区間です。カーブ区間が多いため、揺れや振動が発生しやすく、搬送患者への負担となります。また、できる限り揺れを抑えるため、速度を落とすので搬送時間が延びる原因になっています。

・並行現道区間のカーブ等を回避することができ、救急搬送時の揺れの低減が図られ、安全で安定的に、かつ迅速な搬送が可能になる音威子府バイパスの早期整備に期待しています。

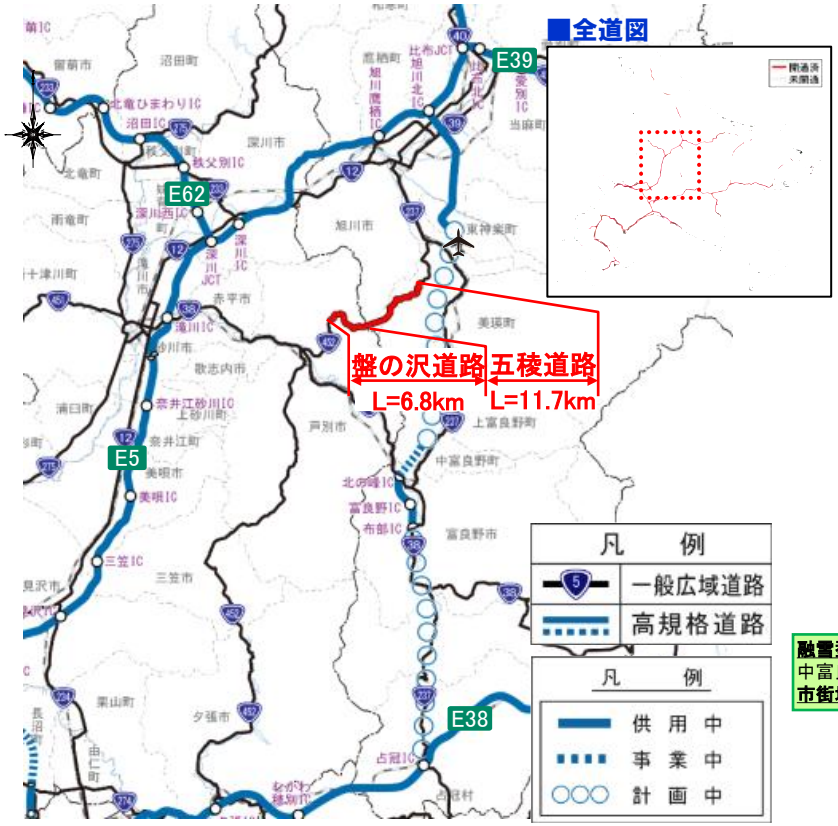
一般国道452号　五稜道路(1/2)

地域重点プロジェクト

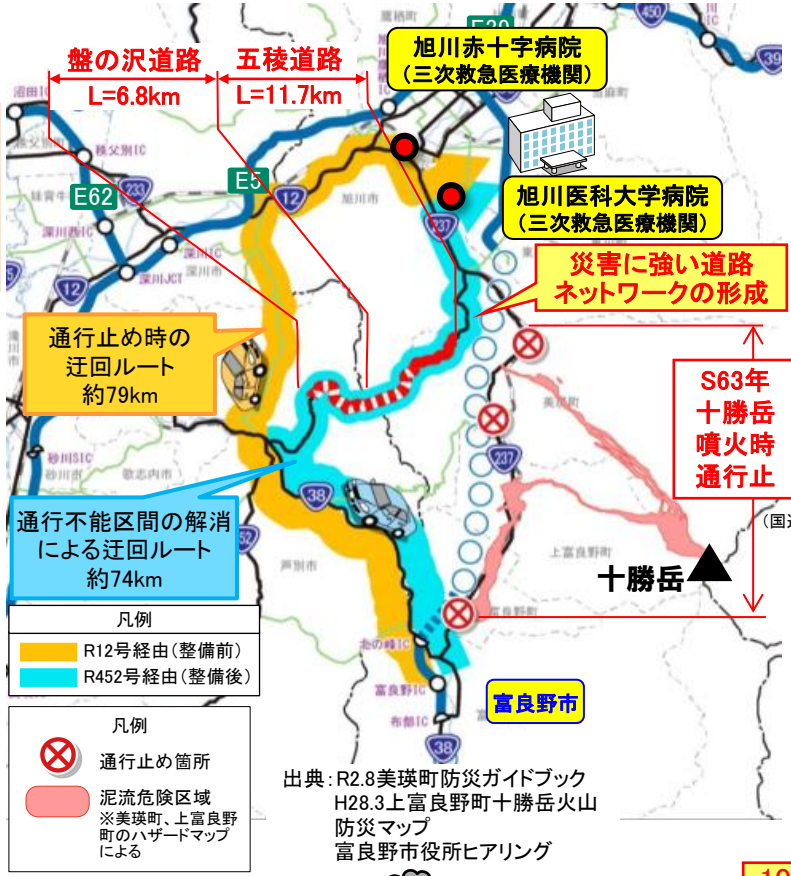
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト

五稜道路により、国道の不通区間が解消され、道央圏と道北圏を結ぶ新たな交通ネットワークの形成が期待され、旭川市の高度医療施設へのアクセス強化や、芦別市と旭川空港間の所要時間短縮が図られ、空港アクセスが向上し、芦別市と美瑛町や富良野市、旭川市の観光施設との連携強化、広域周遊観光ルート形成が強化されます。

事業箇所　美瑛町、旭川市
主要項目　事業延長L=11.7km（うち、L=2.6km供用済）
　　改良、舗装、台ノ下山トンネルほか
令和7年度迄進捗率　約17%



■噴火時の通行止め状況と迂回ルート



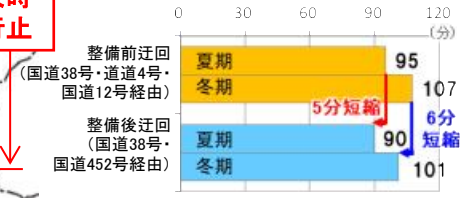
出典：R2.8美瑛町防災ガイドブック
H28.3上富良野町十勝岳火山防災マップ
富良野市役所ヒアリング

【昭和63年の十勝岳の噴火】

昭和63年12月16日から翌年3月5日にかけて火砕流、降下火砕物を主体とした噴火が発生し、国道237号等が通行止めとなりました。



【富良野市から旭川医科大学病院への迂回時の所要時間】



※地域別に、冬期と夏期の平均旅行速度を算出し、一般道路の低減率をそれぞれ算出。
（ETC2.0プローブデータを基に、R3～R5年度の冬期12月～3月と夏期4月～11月の旅行速度を比較して算出）

出典：R3全国道路・街路交通情勢調査
<国土交通省>

【十勝岳の噴火履歴】



100年で3回噴火。最後の噴火から35年が経過。
現在は**噴火警戒レベル1**

一般国道452号　五稜道路(2/2)

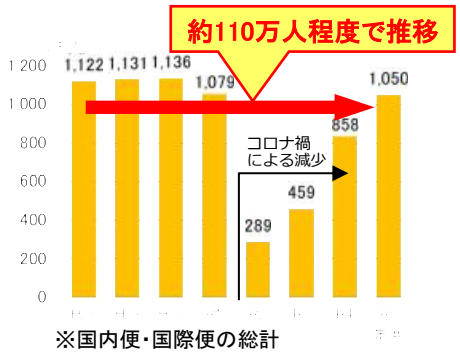
■拠点空港への利便性向上

■旭川空港1時間到達圏域の状況



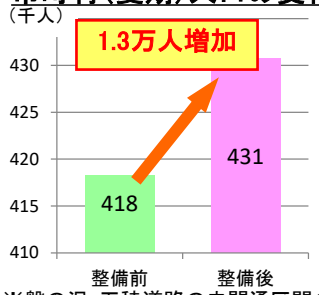
出典：R3全国道路・街路交通情勢調査<国土交通省>
※圏域範囲は各市町村役場までの所要時間を基に記載
中期事業計画（2020～2024年度）＜北海道エアポート株式会社＞

【旭川空港の乗降客数の推移】



※国内便・国際便の総計
出典：暦年・年度別空港管理状況調書
（H28～R5）<国土交通省>

【旭川空港1時間到達圏 市町村（夏期）人口の変化】



※盤の沢・五稜道路の未開通区間の旅行速度は50km/hで算出。
出典：R3全国道路・街路
交通情勢調査<国土交通省>
R2年国勢調査<総務省統計局>

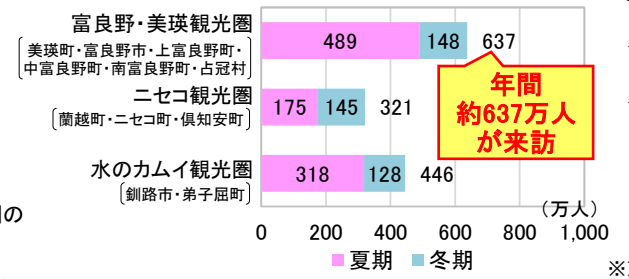
■新たな周遊ルートの形成を支援

■旭川空港～芦別市周辺の観光地と新たな周遊ルート



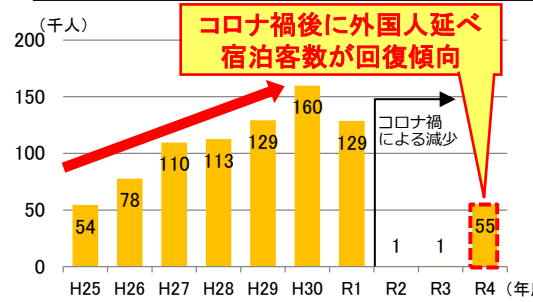
出典：芦別市観光総合ガイドHP、美瑛町観光協会HP、
富良野市観光協会HP、赤平市観光協会HP、カナディアンワールドHP

【各観光圏の観光入込客数（R4年度）】



出典：令和4年度北海道観光入込客数調査報告書<北海道>

【芦別周辺市町※の外国人延べ宿泊客数】



※芦別市周辺市町：芦別市、富良野市、上富良野町、中富良野町、美瑛町
出典：北海道観光入込客数調査報告書<北海道>

旭川十勝道路（富良野道路・富良野北道路）(1/4)

道路事業 1-3-22

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト
○北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト

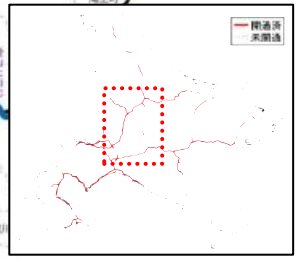
富良野道路・富良野北道路は、北海道縦貫自動車道と北海道横断自動車道と一体となり、道北圏と十勝圏を結び広域ネットワークを形成する高規格道路です。
道路整備により、観光期で集中する交通が分散し、渋滞の緩和が期待、旭川方面への速達性が向上し、広域観光及び救急搬送を支援します。また、広域交通拠点である旭川空港・苫小牧港との連携強化による、農業等の基幹産業の競争力強化が期待できます。

事業箇所　中富良野町、富良野市
主要項目　事業延長L=5.7km　改良、舗装、新富良野大橋ほか
（富良野道路は、H30年度開通）
令和７年度迄進捗率　約85%

■交通混雑の緩和



■全道図



■事業概要図

出典：主要渋滞箇所図(北海道開発局)、旭川開発建設部(R6実測値)
写真：旭川開発建設部（令和6年7月14日撮影）

旭川十勝道路（富良野道路・富良野北道路）(2/4)

道路事業 1-3-23

■主要な観光地への利便性向上

【富良野・美瑛観光圏の観光入込客数及び主要観光地】



出典：北海道観光入込客数調査



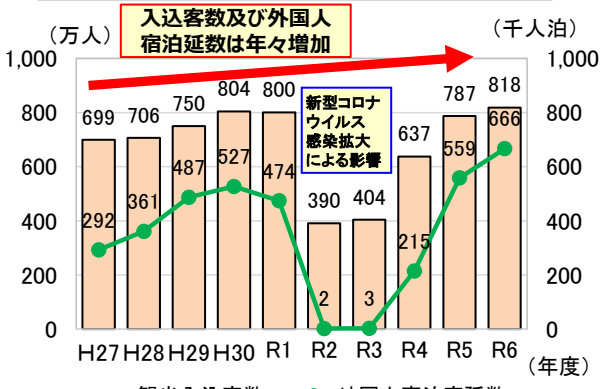






写真：旭川開発建設部

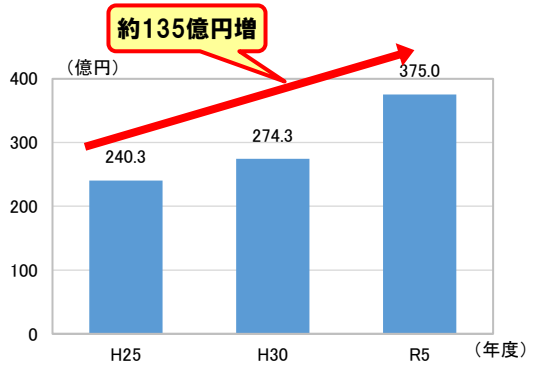
【富良野・美瑛観光圏の観光入込客推移】



※富良野・美瑛観光圏：富良野市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村

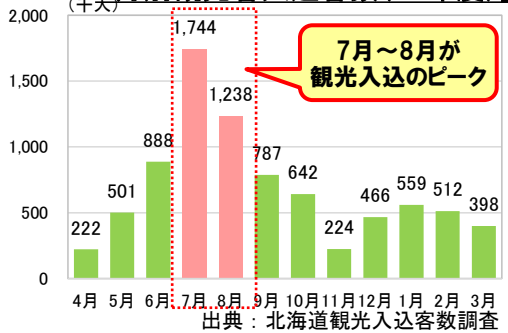
出典：北海道観光入込客数調査

【富良野市の観光消費額推移（推計）】



出典：富良野市
（富良野市観光経済調査報告書　R5年度）

【富良野・美瑛観光圏の月別観光客入込客数（R6年度）】



出典：北海道観光入込客数調査

■地域の声（R7.5　市役所職員）

・当該道路整備により、交通が分散され富良野市街地や観光地周辺の渋滞が解消されれば、富良野・美瑛観光圏でのスムーズな移動が可能となり、より多くの観光地を周遊することができ、来訪者の旅行満足度向上が期待されます。

・また、旭川空港からのアクセス向上により、夏期の富良野・美瑛観光圏への周遊観光がしやすくなるとともに、増加しているインバウンドの来訪がさらに増えることが期待できることから、早期整備を期待します。

旭川十勝道路（富良野道路・富良野北道路）(3/4)

道路事業 1-3-24

■旭川市への救急搬送を支援

【当該道路周辺における救急搬送状況（R5年）】

【混雑時救急車走行状況】



写真：旭川開発建設部

旭川医科大学病院
■診療科目数：39科
■病　床　数：602床

【指定機関】
・がん診療連携拠点病院
・救急指定病院（三次救急医療病院）
・救命救急センター　・災害拠点病院
・DMAT指定病院
・地域周産期母子医療センター

旭川赤十字病院
■診療科目数：28科
■病　床　数：520床

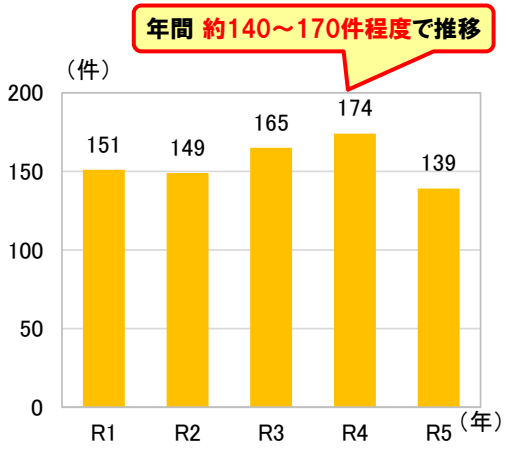
【指定機関】
・北海道がん診療連携指定病院
・救急指定病院（三次救急医療病院）
・救命救急センター　・災害拠点病院
・DMAT指定病院
・地域周産期母子医療センター

富良野協会病院
■診療科目数：17科※1
■病　床　数：255床

【指定機関】
・救急指定病院（二次救急医療病院）
・災害拠点病院
・DMAT指定病院
・へき地医療拠点病院
・地域周産期母子医療センター

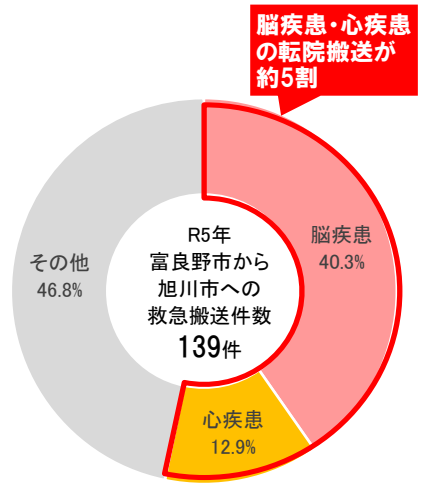
出典：旭川開発建設部、各病院HP、北海道医療計画（R6-R11年度）
※1：呼吸器内科休診中、心臓血管外科（月3回）、脳神経外科（月2回）は旭川医科大学病院出張医による外来診療

【富良野市から旭川市への救急搬送件数の推移】



出典：旭川開発建設部

【富良野市から旭川市への疾患別救急搬送割合（R5年）】



出典：旭川開発建設部

■地域の声（R7.5　消防署職員）

・市街地での交通渋滞発生時には、対向車も多く、追い越しに時間がかかっており、旭川市への救急搬送時間が増えている状況にあります。また、信号交差点による加減速や郊外部のカーブ区間では走行中の救急車に揺れが発生し、患者の体動により心電図解析や呼吸・脈の確認等においてスムーズな処置が難しいなど、走行の安定性が課題となっています。

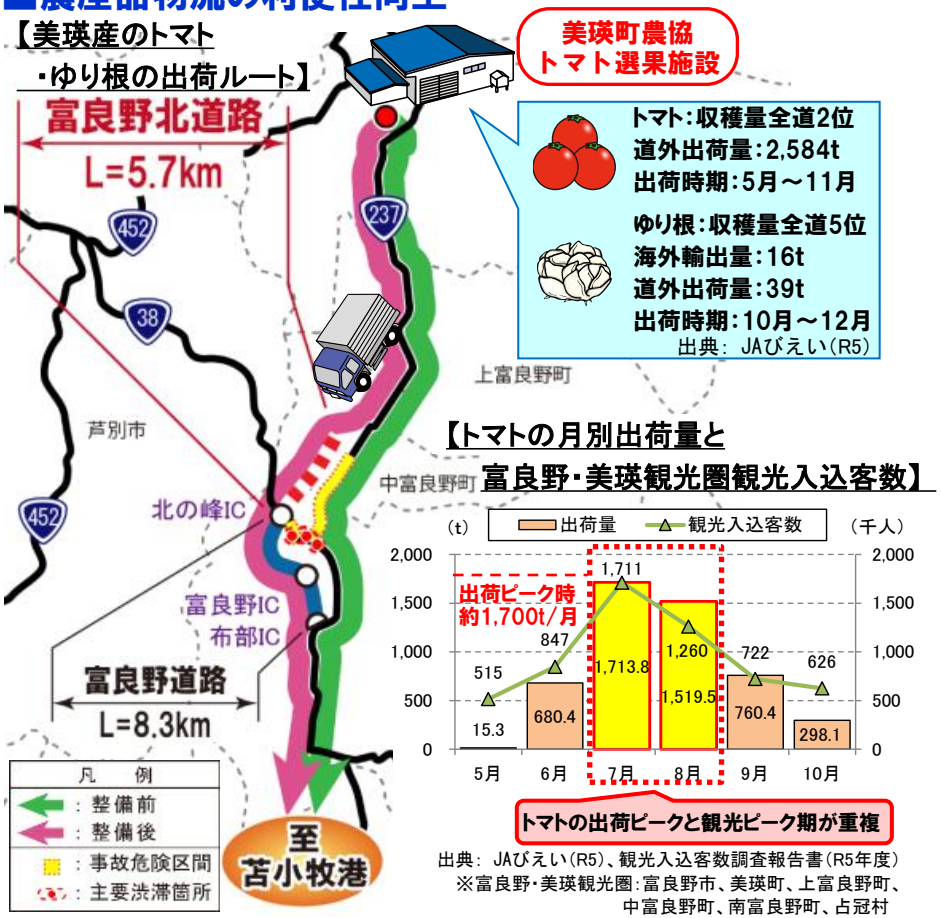
・当該道路の整備により、国道237号の事故の多い区間を回避でき、搬送時の緊急走行の安全性が向上し、搬送中の事故リスクの低減や、冬期の安全性が向上するとともに、信号交差点や渋滞時の加減速による発進・停止の繰り返しが減少することで揺れや振動による患者への負担が軽減されることから早期整備を期待します。

旭川十勝道路（富良野道路・富良野北道路）(4/4)

道路事業 1-3-25

■農産品物流の利便性向上

【美瑛産のトマト
・ゆり根の出荷ルート】

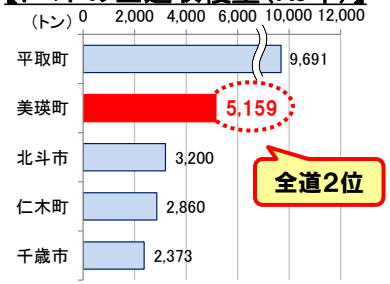


【トマトの月別出荷量と
中富良野町 富良野・美瑛観光圏観光入込客数】

トマトの出荷ピークと観光ピーク期が重複

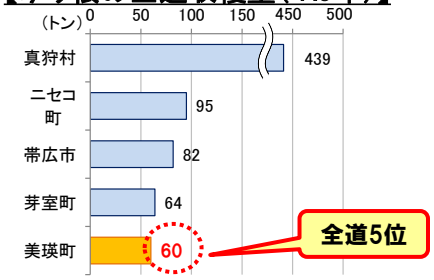
出典：JAびえい（R5）、観光入込客数調査報告書（R5年度）
※富良野・美瑛観光圏：富良野市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村

【トマトの全道収穫量（R5年）】



出典：北海道野菜地図（R7.3版
発行：北海道農業協同組合中央会、
ホクレン農業協同組合連合会）

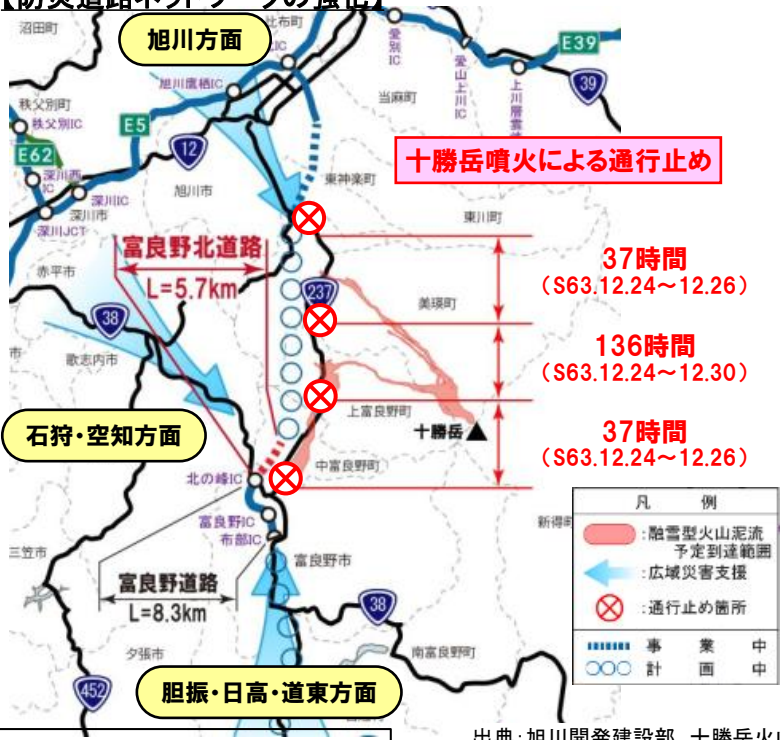
【ゆり根の全道収穫量（R5年）】



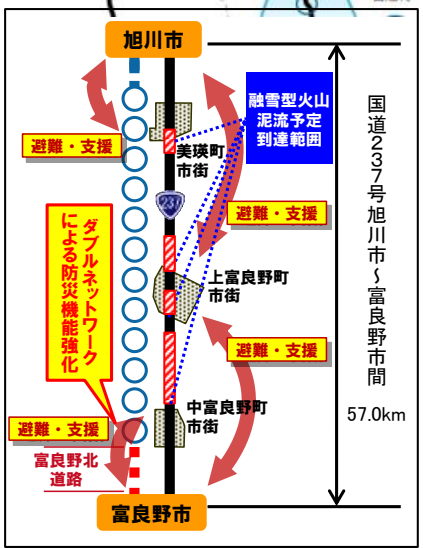
出典：北海道野菜地図（R7.3版
発行：北海道農業協同組合中央会、
ホクレン農業協同組合連合会）

■災害時の緊急輸送ルートの強化

【防災道路ネットワークの強化】



出典：旭川開発建設部、十勝岳火山防災マップ





1962年（昭和37年）の噴火状況



1988年（昭和63年）の噴火状況

直轄明渠排水事業　風連多寄地区

農業農村整備事業 1-3-26

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

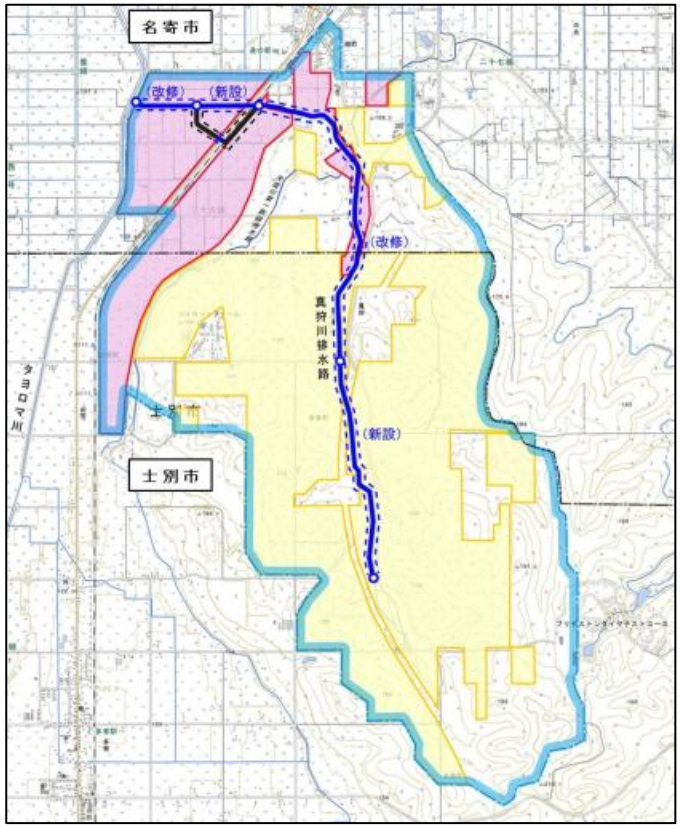
事業箇所　士別市、名寄市
受益面積　650ha
主要項目　排水路(新設・改修)1条L=5.2km
令和７年度迄進捗率　約11.5%

排水路の改修による農地の湛水被害の軽減

本地域は、士別市、名寄市に位置し、水稲、小麦、大豆、てんさい、ばれいしょ、かぼちゃ等を組み合わせた水稲作経営又は畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する営農が展開されている。

本地区は近年の降雨条件の変化等に伴う流出量の増加により排水能力が不足し、過去10か年で3回の湛水被害が生じている。

本事業では、排水路の改修等を行う事により、農地の湛水被害解消及び維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。





排水路からの溢水の状況


かぼちゃ作付けほ場の湛水状況


かぼちゃ作付けほ場
（R元作付面積で名寄市が北海道1位）



地場産野菜を使用したスープ
（6次産業化の取組）

国営かんがい排水事業　共栄近文二期地区

農業農村整備事業 1-3-27

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　旭川市、鷹栖町
受益面積　5,582ha（田5,582ha）
主要項目　頭首工１箇所（改修）　用水路６条　L＝20.6km （改修）
　　１条　L＝0.6km （新設）
令和７年度迄進捗率　約22.2%

○用水施設の改修による産地収益力の向上、水管理の合理化による維持管理の軽減

本地域は北海道中央に位置する旭川市及び鷹栖町からなり、道内有数の水田地帯であり、水稲を中心に水田の畑利用による小麦、大豆、そば、トマト、きゅうり等を組み合わせた農業経営を展開している。

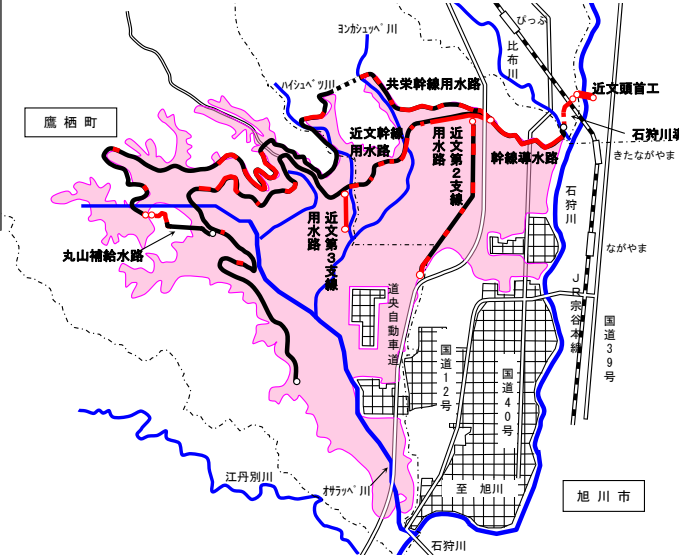
本地区は、事業完了以降、営農状況の変化に伴い水需要が変化しているとともに、複数の取水施設を利用した水利用形態のため用水管理に苦慮している。また、用水施設は経年劣化等により維持管理に多大な費用と労力を要している。さらに、必要な耐震性を有していない近文頭首工の耐震対策が必要となっている。このため、本事業では、水需要の変化や水管理の合理化に対応した用水再編を行うとともに、用水施設の改修と耐震化のための整備を一体的に行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減並びに大規模地震に伴う被害の防止又は軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資する。


改修整備を待つ近文頭首工


頭首工堰柱の耐震性能不足


用水路の劣化（側壁傾倒）


用水路の劣化（凍害）







「米」食味ランキングで「特A」(H23～)を取得する「ゆめぴりか」「ななつぼし」の作付けが、７割を占める生産地



「野菜」近隣JAによる「旭川青果物出荷組織連合会」を組織し販売体制が確立されており、「旭山動物園のある街」として動物柄を印刷したパーッケージにて流通

国営かんがい排水事業　美瑛川下流地区

農業農村整備事業 1-3-28

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　旭川市
受益面積　771ha（田451ha、320ha）
主要項目　ダム１箇所（改修）　用水路３条　L＝7.1㎞（改修）
令和8年度　新規着工地区

○用水施設の改修による産地収益力の向上、水管理の合理化による維持管理の軽減

本地域は、北海道中央部の旭川市に位置する道内有数の水田地帯であり、水稲を中心に水田の畑利用による小麦、大豆、そばのほか、かぼちゃ、スイートコーン、トマト等を組み合わせた農業経営を展開している。

本地区は、営農状況の変化に伴い水需要が変化しており、近年の営農に対応した用水手当を必要としている。また用水施設は、経年劣化等により維持管理に多大な費用と労力を要している。さらに、必要な耐震性を有していないダム付帯施設の耐震対策が必要となっている。

このため、本事業では、水需要の変化や水管理の合理化に対応した用水再編を行うとともに、用水施設の改修と耐震化のための整備を一体的に行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減並びに大規模地震に伴う被害の防止又は軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資する。



管水路の漏水事故状況
（道路への土砂流出も発生）



用水路の改修（施工イメージ）
（漏水被害の防止・用水の安定供給）

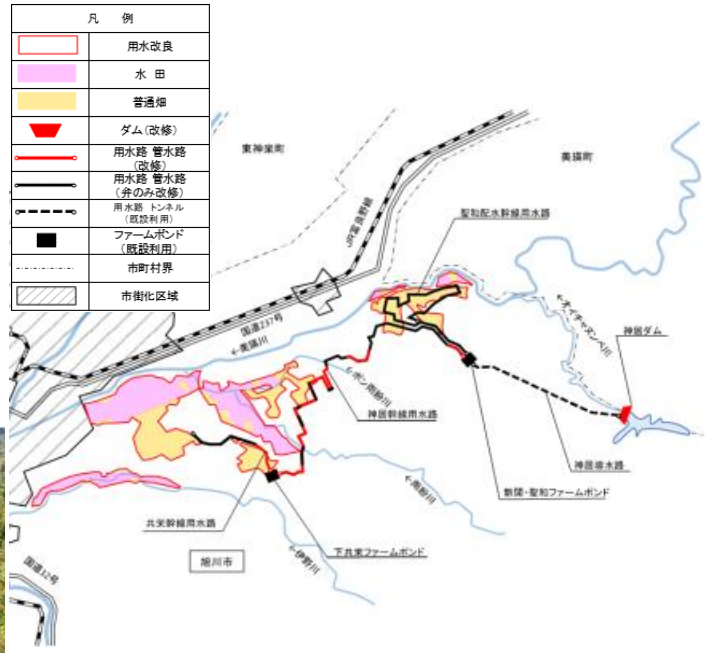




ひび割れ等、耐震性の不足
（大規模地震による倒壊のおそれ）



改修整備を待つ神居ダム







香港のおむすび販売店

旭川市の米の作付面積は全道1位。米は国内で消費されるほか、香港、台湾へも輸出。



加工向けに生産されたかぼちゃは、道内の加工業者へ出荷。冷凍かぼちゃ等に加工され全国へ供給。

農業用用水の安定供給及び維持管理の軽減
大規模地震に伴う被害の防止又は軽減
➡ **農業生産性の向上及び農業経営の安定**

国営緊急農地再編整備事業　愛別地区

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　愛別町
受益面積　1,253ha
主要項目　区画整理1,253ha
令和７年度迄進捗率　約75.3%

○土地利用の再編と利用集積対策

本地区は、北海道中央部の上川郡愛別町に位置し、地域の農業は、水稲（うるち米、もち米）を主体としながら、小麦や大豆等の畑作物、きゅうりやアスパラガス等の野菜類のほか、飼料作物として新規需要米（飼料用米、稲発酵粗飼料用稲）等を作付けしている。

本地域では、農家の高齢化や農家戸数の減少が進行し、離農跡地の継承による規模拡大も進んでいるため、効率的な営農体系の構築に向けた機械の共同利用体制の強化による低コスト生産を目指している。しかし、地区内のほ場は、小区画で排水不良も生じているため、機械作業の効率が悪い状況となっている。さらに、地区内の一部で耕作放棄地が発生しており、今後、耕作放棄地が増加するおそれがある。

このため本事業により、農地の土地利用を計画的に再編し、農地の利用集積を進めることにより、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興と地域活性化に資することを目的に事業実施を行う。





30a～50aの小区画なほ場が9割を占め、機械作業が非効率



排水不良なほ場では機械がぬかるみ、作業時間が増加

国営事業による基盤整備と機械利用組合の再編により農作業の効率化及び低コスト生産を実現

小麦・大豆の生産拡大



食料自給率の向上に向けて、高品質・安定生産を目指す。

きゅうりやアスパラガスなど高収益作物の生産拡大



節減した労働時間を高収益作物の栽培管理に充当し、農業所得の向上を目指す。

高付加価値化への取組拡大



愛別ブランドの米「愛一杯」

愛別産のもち米や豆を使った加工品の製造・販売を推進



国営緊急農地再編整備事業　大雪東川第一地区・大雪東川第二地区

農業農村整備事業 1-3-30

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

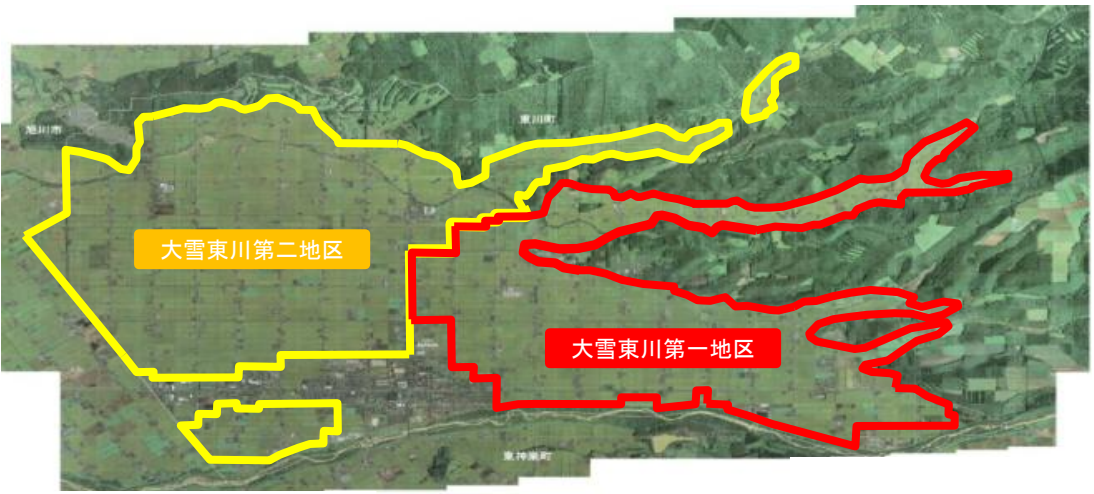
事業箇所　東川町
受益面積　第一地区：1,157ha　第二地区：1,639ha
主要項目　第一地区：区画整理1,157ha　第二地区：区画整理1,639ha
令和７年度迄進捗率 第一地区　約69.2%　第二地区　約35.6%

土地利用の再編と利用集積対策

本地区は、北海道中央部の東川町に位置し、水稲を主体としながら、露地野菜や施設野菜を組込んだ複合経営が展開されており、近年は安心・安全で高品質な農産物の生産に力を入れている。

地区内の農地は、小区画、排水不良等のほ場条件に加え、離農跡地の継承による経営耕地の分散化が進んでいることから、農作業効率が悪く、農業生産性の向上を図るうえで支障を来しており、現在の生産基盤のままでは、将来的に担い手への農地流動化が困難となり、地域では農業者の高齢化、後継者の不足等から耕作放棄地が増加するおそれがある。

このため本事業により、農地の土地利用を計画的に再編し、農地の利用集積を進めることにより、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興と地域活性化に資することを目的に事業実施を行う。





30～50aの小区画ほ場が9割を占め、機械作業の効率が悪い



排水不良なほ場では機械がぬかるみやすく、作業効率が悪い

国営事業による生産基盤の整備により、生産性の向上と水田フル活用を展開





ほ場の大区画化と併せて共同作業を行うことにより、「東川米」の低コスト安定生産が可能



地域住民を雇用し、ひがしかわサラダを収穫

高品質・安定生産による地域ブランドを強化



ひがしかわサラダ





ブランド野菜

高付加価値化の取組拡大





東川町産の完熟トマト（桃太郎）100%トマトジュース「北の太陽」

国営緊急農地再編整備事業　旭東東神楽地区

農業農村整備事業 1-3-31

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　東神楽町
受益面積　1,535ha
主要項目　区画整理1,535ha
令和７年度迄進捗率　約43.5%

土地利用の再編と利用集積対策

本地区は、北海道中央部の上川郡東神楽町に位置し、地域の農業は、水稲を主体にアスパラガス、スイートコーン等の野菜類のほか、ほうれんそう等の施設野菜など多様な品目を栽培している。

本地域では、農家の高齢化や農家戸数の減少が進行し、離農跡地の継承による規模拡大も進んでいるため、効率的な営農体系の構築に向けた機械の共同利用体制の強化による低コスト生産を目指している。しかし、地区内のほ場は、小区画で排水不良も生じているため、機械作業の効率が悪い状況となっている。さらに、地区内の一部で耕作放棄地が発生しており、今後、耕作放棄地が増加するおそれがある。

このため本事業により、農地の土地利用を計画的に再編し、農地の利用集積を進めることにより、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興と地域活性化に資することを目的に事業実施を行う。



地域の農業生産基盤は、ほ場が小区画で排水不良を呈しており、効率的な農作業が行えないことや収益力の向上に向けた農業振興施策へ支障となっています。

小区画ほ場



排水不良ほ場



国営緊急農地再編整備事業による基盤整備

【 整備前 】



【 現況区画 0.3 ha 】

大区画化（イメージ）

【 整備後 】



【 標準区画 2.2 ha 】

東神楽流の農業振興

地域で栽培されたアスパラガスの流通



アスパラガス選別作業

JA（加工）

農業者（栽培）



アスパラガス収穫作業

企業（販売）



アスパラガス商品

☆地域特産のアスパラガス、スイートコーンの一部は、冷凍カット野菜として全国に販売され、主に学校給食で消費されております

国営緊急農地再編整備事業　旭東地区

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　旭川市、東神楽町
受益面積　1,963ha
主要項目　区画整理1,963ha
令和７年度迄進捗率　約28.4%

土地利用の再編と利用集積対策

本地区は、北海道中央部の旭川市、上川郡東神楽町に位置し、地域の農業は、水稲、小麦のほか、アスパラガス、スイートコーン、小ねぎ、ほうれんそう、ピーマン等の施設野菜を組み合わせた営農を展開している。

本地域では、農家の高齢化や農家戸数の減少が進行し、離農跡地の継承による規模拡大も進んでいるため、効率的な営農体系の構築に向けた機械の共同利用体制の強化による低コスト生産を目指している。しかし、地区内のほ場は、小区画で排水不良も生じているため、機械作業の効率が悪い状況となっている。さらに、地区内の一部で耕作放棄地が発生しており、今後、耕作放棄地が増加するおそれがある。

このため本事業により、農地の土地利用を計画的に再編し、農地の利用集積を進めることにより、生産性の向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興と地域活性化に資することを目的に事業実施を行う。



地域の農業生産基盤は、ほ場が小区画で排水不良を呈しており、効率的な農作業が行えないことや収益力の向上に向けた農業振興施策へ支障となっています。

排水不良ほ場

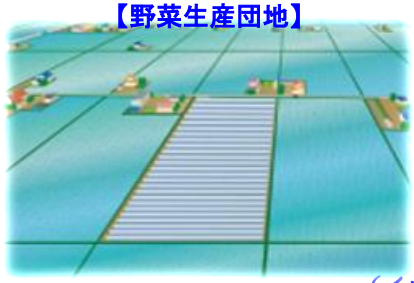


石礫過多ほ場



野菜生産団地の形成による高生産性農業を展開

【野菜生産団地】



複数の担い手農家が主体となり、大型ハウスでの野菜生産を拡大



（イメージ）

需要の高い高品質な生鮮野菜などの農産物生産



小ねぎ、ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ、ﾎｳﾚﾝｿｳ等
多様な生鮮野菜を生産

冷凍カット野菜の生産・供給の取り組み



アスパラガス



スイートコーン

学校給食、病院や福祉施設へ供給

国営施設応急対策事業　鳥沼宇文地区

農業農村整備事業 1-3-33

地域重点プロジェクト

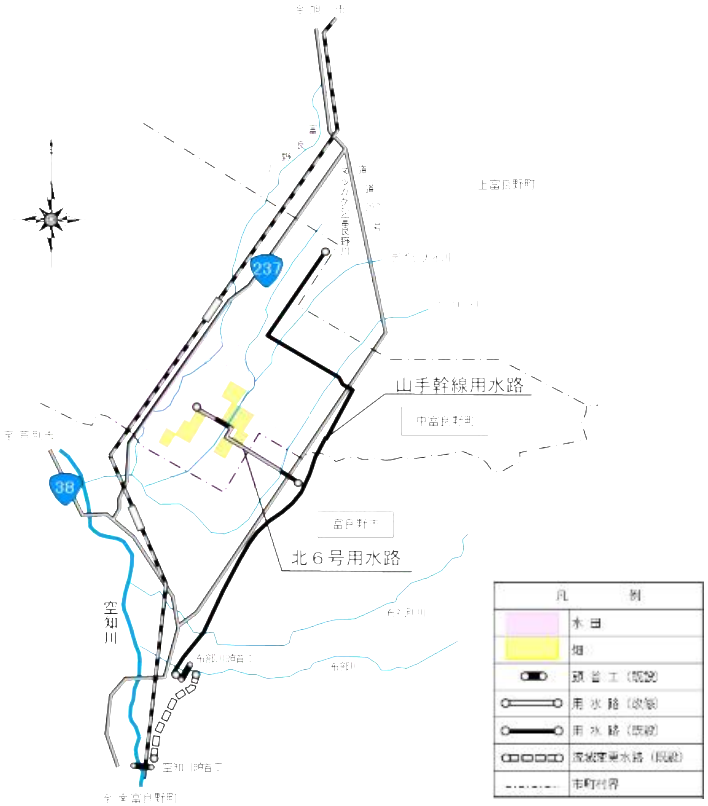
○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト

事業箇所　富良野市、中富良野町
受益面積　1,464 ha
主要項目　用水路 1条 L=3.5km
令和７年度迄進捗率　約66.1%

用水路の機能保全による農業用水の安定供給

本地域は、富良野市及び中富良野町に位置し、水稲を中心にたまねぎ、小麦、大豆、メロン等の野菜類を組み合わせ、農業用水を活用した収益性の高い営農が展開されている。

本地区の北６号用水路は、管水路が沈下・漏水する不測の事態が発生し、農業用水の安定供給に支障を来たしているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しているため、本事業において用水路の機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び維持管理の費用と労力の低減を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。



基幹的な農業施設での突発事故の発生



漏水事故の発生



沈下による可とう管の亀裂・破断

用水の安定供給、農業生産の維持・農業経営の安定化



整備イメージ（用水路）



たまねぎ

国営農地再編整備事業　富良野南富地区

地域重点プロジェクト

○上川の農業の持続的な発展プロジェクト
○道北広域観光地域づくりプロジェクト
○生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト

事業箇所　富良野市、南富良野町
受益面積　1,916 ha
主要項目　区画整理 1,916ha
令和8年度　新規着工地区

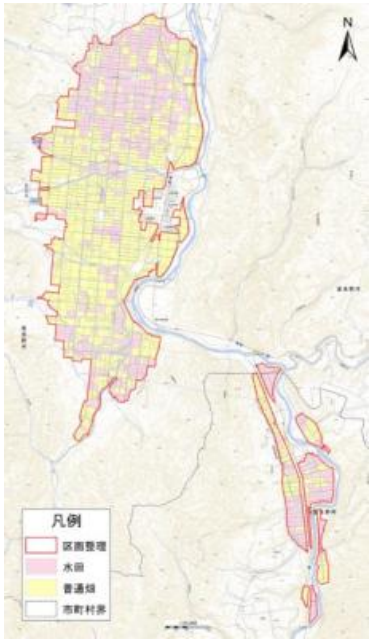
土地利用の再編と利用集積対策

本地区は、北海道富良野市及び空知郡南富良野町に位置し、一級河川石狩川水系空知川とその上流沿いに広がる水田及び畑地帯であり、かぼちゃ、メロン、スイート コーン等の野菜類に、小麦、大豆や水稲等を組み合わせた農業経営が展開され、さらにスマート農業の導入や、農作業請負組織の活用を通じ、労働生産性の向上やばれいしょ、たまねぎ等の高収益作物の生産拡大等による産地収益力の向上を目指している。

しかし、本地区の農地は、小区画で、排水不良等が生じていることに加え、水田の畑地化を進める中、田と畑の土地利用が錯綜しているため、効率的な農業が行えず、経営規模を拡大する上で必要な労働力の確保が難しくなっている。

このため、本地区では、区画整理を施行し、スマート農業の普及やたまねぎ、ばれいしょ等の高収益作物の作付拡大等に対応した生産基盤を整備するとともに、土地利用の整序化、担い手への農地の利用集積を進め、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図り、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的とする。

富良野南富地区の現状





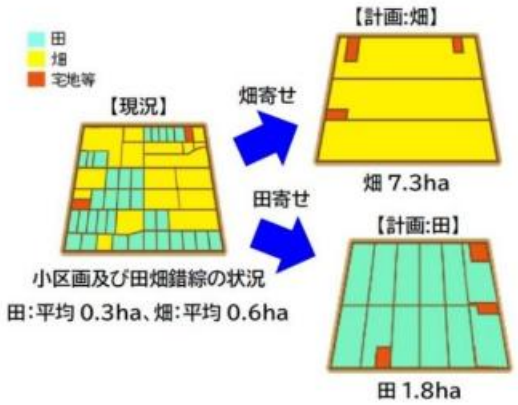
■水はけの悪い土壌に起因する排水
■農作業機作業効率の低下。





国営事業による基盤整備と担い手への農地の利用集積を実施

土地利用の整序化・ほ場の大区画化





スマート農業の導入・農作業請負組織の利用拡大



上：自動操舵トラクタ
下：自動給水栓



上：ポテトハーベスター
下：オニオンピッカー

労働生産性の向上、労働時間の削減、
高収益作物の生産拡大が図られ、
産地収益力の向上、食料安全保障の確保
国土強靭化に貢献

情報発信と共創応援企業・団体の募集

▼道北地域づくり通信（現在約400名の方が登録）

//
道北地域づくり通信 ＜第10号＞
～みんなで創ろう！ HOT&COOL DOHOKU～
//
※本メールは、これまでに名刺交換させて頂いた方、道北地域づくりワークショップにご参加いただいた方、道北地域づくり共創応援企業・団体のみなさまに BCC 送信しています
※各関係者様に情報展開して頂けますと幸いです

みなさまこんにちは。
道北地域づくり通信事務局の 旭川開発建設部 地域連携課です。

今回は、「シーニックバイウェイ北海道」の『天塩川シーニックバイウェイ』様からイベントの情報提供を頂きましたので、ご案内いたします。
ご興味がございましたら、是非お申し込みくださいませ。

●【天塩川×武四郎セミナー第１弾】
北の大河・天塩川と北海道の名付け親・松浦武四郎を知る！

【日時】 令和7年3月26日(水) 15:30～17:00
【場所】 グランドホテル藤花 2階 大宴会場 （名寄市西5条南4丁目）
【講演】『武四郎日誌からたどる天塩川流域のアイヌ文化』
国立アイヌ民族博物館 研究学芸部資料情報室長 田村 将人 氏
【定員】 会場参加:100名 ／ オンライン参加:100名
【申込方法】 お申込フォームから→https://sites.google.com/view/20250326-teshiogawa-seminer
又は FAX(01654－9－6712)からもお申し込みいただけます
【申込締切】 令和7年3月21日(金) 17時まで

※オンラインと併用とします。オンライン申込の方には、申込確認後当日参加用の URL をご連絡いたします。
※セミナー詳細はお申込フォームをご参照ください

それではどうぞよろしくお願いします。

＊＊HOT & COOL DOHOKU！＊＊
道北の未来のために皆様と共に熱く頑張って参ります。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

1

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――MLIT
(送信元)道北地域づくり通信 編集長
■事務局 国土交通省 旭川開発建設部 地域連携課
〒078－8513 旭川市宮前１条３丁目３番15号
℡ 0166－32－3079(ダイヤルイン)
Email hkd-as-chiikirenkei@ki.mlit.go.jp

共に北海道の未来を創る ～第9期北海道総合開発計画～
http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/u23dsn0000000fqs.html

▼道北地域づくり共創 応援企業・団体の募集の取組



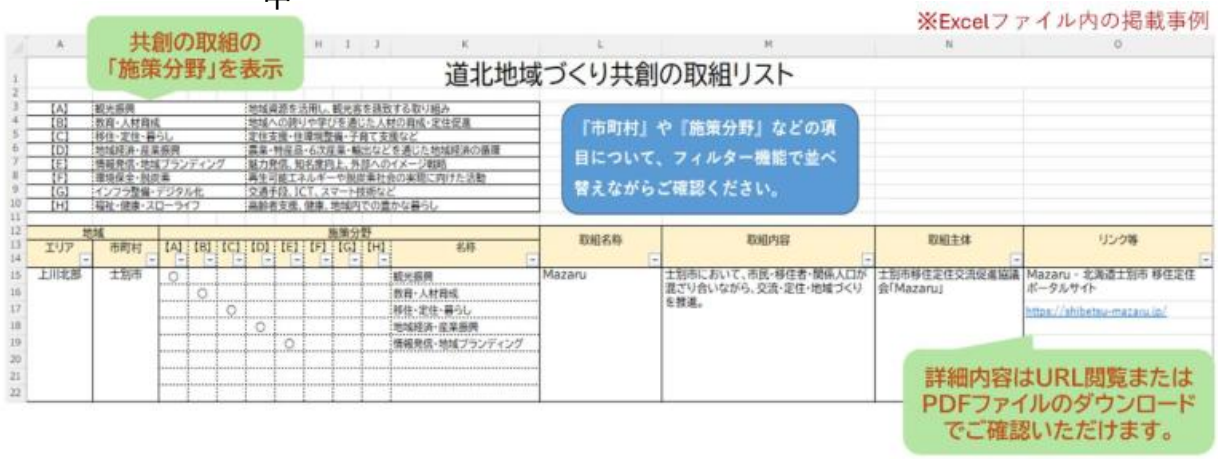
道北地域づくり共創の取組リストの作成

上川地域づくり連携会議で話題となった、各市町村における地域づくり共創の取組を中心に、8つの施策分野ごとに整理し、リスト化しています。リストを通じて、取組の進捗状況や課題の共有・発信を行うとともに、必要に応じて、打合せの場の設定や、関係団体間、さらには取組を応援する企業等との調整等を行っています。

▼地域づくり共創の取組を進めるための8つの施策分野

施策分野	施策の内容
【A】観光振興	地域資源を活用し、観光客を 誘致する取り組み
【B】教育・人材育成	地域への誇りや学びを通じた 人材の育成・定住促進
【C】移住・定住・暮らし	定住支援・住環境整備・子育 て支援など
【D】地域経済・産業振興	農業・特産品・6次産業・輸出 などを通じた地域経済の循環
【E】情報発信・地域ブランディング	魅力発信、知名度向上、外部 へのイメージ戦略
【F】環境保全・脱炭素	再生可能エネルギーや脱炭素 社会の実現に向けた活動
【G】インフラ整備・デジタル化	交通手段、ICT、スマート技術 など
【H】福祉・健康・スローライフ	高齢者支援、健康、地域内で の豊かな暮らし

▼旭川開発建設部のホームページで取組を紹介中



★本リストに掲載された取組が、各主体によって継続して進められ、さらに新たな取組がリストに追加されていく状況は、地域づくり共創が着実に広がり、深化していることを示す指標になると考えるものです。